



週刊 Y E A R B O O K

1995
平成7年

日録20世紀

126

平成11年1月26日発行
(毎週1回火曜日発行)
第3巻第3号 通巻95号
平成10年8月21日第三種郵便物認可

¥560
講談社

阪神・淡路大震災!

「地下鉄サリン事件」とオウム真理教の恐怖!
少女を襲った「米兵暴行事件」と沖縄の怒り
大騒動! 「ウィンドウズ95」日本発売開始



「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか!」 阪神・淡路大震災の

平成7年1月17日早朝、関西の大地が日本の観測史上最大の激しい揺れに見舞われた。マグニチュード7.2、震源は兵庫県淡路島北東の北緯34度6分、東経135度——震源の深さがわずか14kmというこの直下型大地震は、都市災害のすさまじさを見せつける一方で、ヒューマンネットワークを含めた町造りのあり方など、数々の教訓をあらためて突きつけている。

死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上 悲惨な“爪痕”

▼神戸市東灘区で、大阪と神戸を結ぶ阪神高速道路・神戸線が635メートルにわたってもろくも崩壊。横方向からの震動に耐えられなかった。

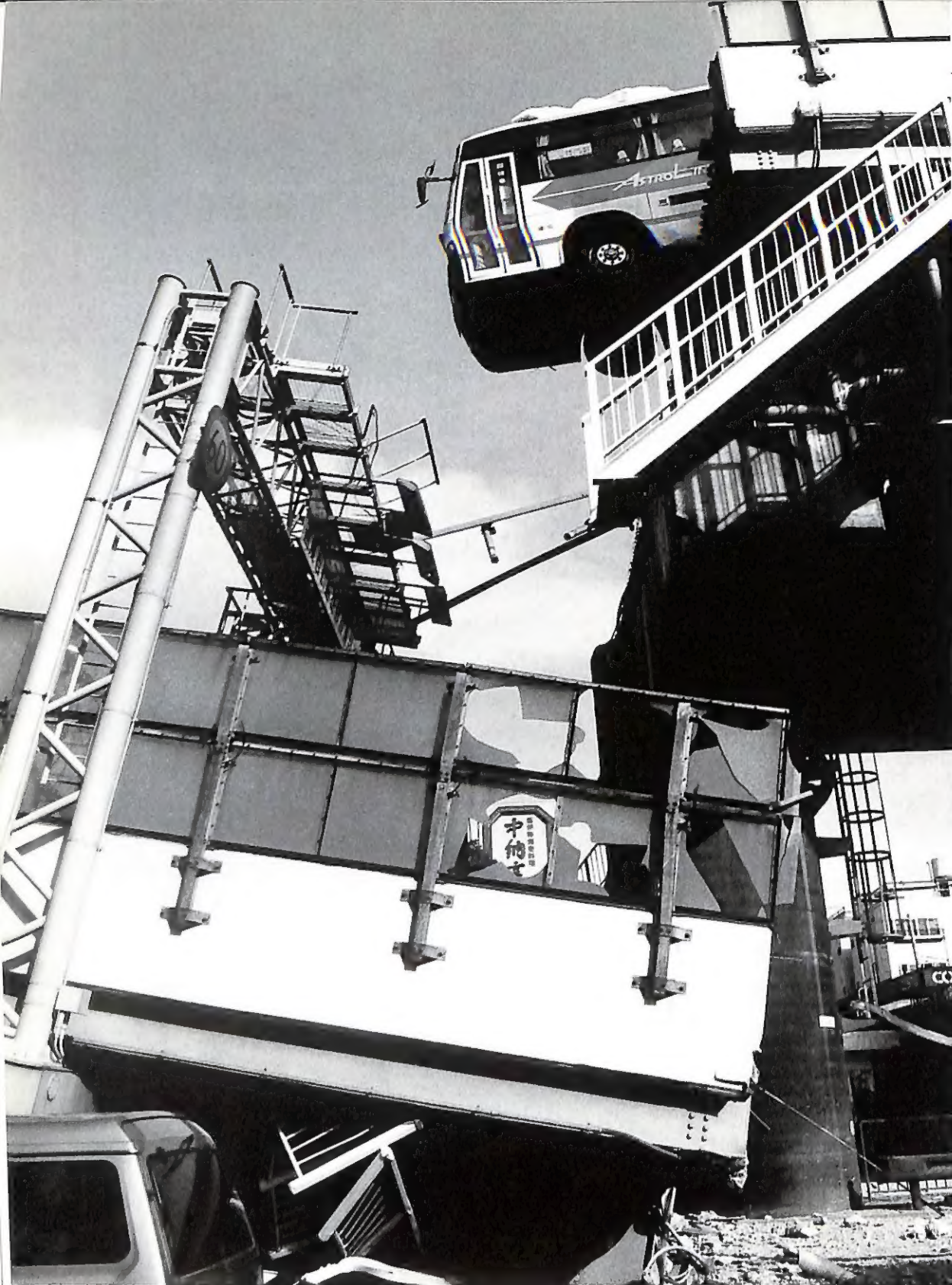


▲平成7年1月17日午前5時46分、阪神間を大地震が直撃した。日本でも有数の人口密集地帯は、わずか20秒で瓦礫の山と化し、炎に包まれてしまった(17日、神戸市長田区で)。朝日新聞社



▲神戸市中央区の生田神社は、拝殿が倒壊、楼門や鳥居が大きく傾く被害を受けた。
◎表紙「阪神・淡路大震災」は、さまざまな被害をもたらした。その破壊力のものすごさに日本中が驚いた。写真は、横倒しになった阪神高速道路・神戸線。朝日新聞社

共同通信社



▲高速道路の倒壊は安全神話の崩壊でもあった。転落するなどして4人が、また落下した高架部の下敷きで2人が、死亡した(17日、西宮市)。

高速道路六三五四横倒し 消火活動も「焼け石に水」

平成七年一月一七日午前五時四六分、突如として襲ったマグニチュード七・二の「阪神・淡路大震災」で、神戸の街は倒壊、火の海に包まれた。

「建物の下敷きになった人は、大きな悲鳴をあげ、助けを求めているのですが、なかなか救い出せない。そのうち火がま

わり、ただ唖然とするばかりでした。今でも助けを求める声は耳から離れません」

ポートアイランドの仮設住宅に暮らす大滝孝さん(現・七〇歳)が語る。

また、みずからも、神戸に近い大阪府豊中市の自宅で地震の直撃を受けたジャ・ナリストの大谷昭宏氏は、「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければなら

る煙を見た時、無性に悲しく涙が流れました。上陸すると、そこはまさに地獄、瓦礫の中から助けを求める声、路上で息絶える人……。こうした中での取材は初めてのことでした」と当時を回想する。

「阪神・淡路大震災」は、直下型地震と都市型災害のおそろしさを見せつけた。地震発生と同時に道路は大渋滞となり、救援活動の障害になったのはもちろん、水道管の破裂で、消火栓が使えなくなっ

たのは想像外のことであった。川からポンプで水を吸い上げたり、半壊した公衆浴場からバケツリレーで必死に消火にあたったところもあったが、それはまさに焼け石に水でしかなかった。

地震は、都市機能を直撃した。交通機関では、阪神高速道路が三号神戸線深江出入口付近の高架部が六三五四にわたって横倒しになり、これまで見たこと

もない異様な光景に誰もが自分の目を疑った。山陽新幹線でも八カ所の高架橋の橋桁が落下、神戸港も液状化現象により甚大な被害をこうむった。

ライフラインも大きな打撃を受けた。約二六〇万世帯が停電、ガスは約八五万世帯で供給がストップ、水道も約二九万世帯で断水した。電話は最大時約三〇万回線が不通となり、被害の実態把握を大幅に遅らせていた。被害総額は、国上

岸の推定でざっと九兆六〇〇〇億円と見積もられたのである。

その結果、数多くの人が住む場所を失い、ピーク時の一月三日には、兵庫県内一五三カ所の避難所には、ほぼ高知市の人口に相当する三二万人もの人たちが避難した。そしてその後、死者・行方不明者六三〇八人、負傷者四万三、七七人(そのうち、淡路島の死者は五九人、負傷者は一一八人)にのぼることが明らかになったのである。

震災が心に残した傷痕！ 今なお苦しむ二割の人々

あれから三年九ヵ月後の、平成・〇年一〇月、「復興」した神戸の繁華街は、何事もなかったようににぎわっていた。



▲淡路島では、震源地に近い北淡町を中心に北部の民家7600戸が全半壊、59人が死亡した。築50年以上の民家はほとんど全壊。墓石や大鳥居、石灯籠も倒れた。 共同通信社

「なんで神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか」 死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上 阪神・淡路大震災の悲惨な「爪痕」

▶1月18日午前9時前、神戸市長田区の燃え落ちた自宅跡で、茫然と座りこむ出口恵美子さん(47)。逃げ遅れた母親の遺骨を見つけた直後だった。

▼崩れ落ちた文化住宅から怪我人を運び出す。担架代わりの畳をかつく人の中には、通りすがりの人もいる。



永山竜樹 岡山万里提供



久米洋一 中日新聞社

「なんで神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか」
死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上
阪神・淡路大震災の悲惨な「爪痕」

平成7年1月17日、何が起きたのか？

- 5:46 地震発生
- 5:49 NHKテレビ、「大きな揺れ」第1報。
- 6:00 東海道・山陽新幹線、運転ストップ。
- 7:00 兵庫県が災害対策本部を設置。
- 7:54 京都市伏見区の国宝・醍醐寺五重塔などの漆喰に被害判明。
- 8:15 西宮、神戸市内の阪神高速道路で高架橋が落下、落ちた車数十台と報告。
- 9:12 国立明石病院に50人収容、一人死亡。
- 9:35 神戸港の岸壁が約2m沈下しているのを、神戸海上保安部が確認。
- 10:00 警察庁、死者22人負傷者223人と発表。
- 10:00 兵庫県が陸上自衛隊に災害派遣要請。
- 11:50 日赤が大阪・広島など8府県から医師、看護婦を現地へ派遣と発表。
- 14:10 神戸市長田区の西市民病院で5階部分が崩壊、47人生き埋めと判明。
- 15:00 神戸市東灘区魚崎北町の火災が、強い北風で100m四方に延焼。
- 15:00 大阪市消防局が、西宮市にヘリコプターで治療用血液製剤を緊急輸送。
- 17:00 神戸市、市内小学校で給水開始。
- 17:30 滋賀県がポンプ車などを応援出動。
- 17:30 大阪府警から警察官400人が兵庫県へ。
- 17:32 食糧庁が政府米6万4000食、乾パン4500食の緊急供給を発表。
- 18:07 新幹線、名古屋・京都間で運転再開。
- 19:30 神戸市長田区大正筋商店街が全焼。
- 21:00 警察庁が死者1311人、行方不明者1048人、負傷者4241人と発表。
- 22:30 西市民病院で建物に閉じこめられた47人のうち一人を残し46人救出。



▲焼失、全半壊した家屋は43万棟を超えた。加えて直後に発生した大火災は、神戸市街を大混乱におとし入れた。

「心配なのは、震災の恐怖が潜在化したまま、その恐怖から逃げようとして、それを極端に回避しようとするPTSD（心的外傷後ストレス障害）です。不眠や抑鬱といったことが起ります。こうした人は、被災者の二割はいると推定されており、今後、長期的なメンタル・ヘルス・ケアの必要があるのです」

この「阪神・淡路大震災」は、私たちに何を突きつけたのか。

「それは、瓦礫のすき間から何が見えたのかということです。つまり、戦後五〇年、我々がどんな国を造ってきたかを問われたのです。私たちは都市化により、一見豊かで便利な生活を送ってきましたが、そこには人間の顔が見えなかった。この震災と救援活動を通して、人間の絆こそが本当の豊かさであることがわかったはずですよ」

と語るのは、先の大谷氏だ。

また、心理学者として



▶助け出された老人が、崩れた自宅のアパート前で泣き崩れる。その後の復興の過程でも、最大の被害者は高齢者たちだったと云える。



神戸市須磨区で。読売新聞社



▶一月十七日、銀行や生命保険会社の支店が入居している神戸市兵庫区の六階建てのビルが崩壊した。鉄筋の柱がへし折れて大きく垂み、窓ガラスが割れてラインドが外に垂れ下がった。

しかし、長田区の一画に足を踏み入れると、今も空き地とブレハブ風の民家が混在する深い爪痕が残っていた。

「見てくださいよ。まわりの工場はなくなり、住んでいた人たちが戻ってきませんよ。震災前には三十七あった店も、その後お金を借り、必死に商売を再開したのは二〇店、しかし今、ここは区画整理が進み、将来は六人の組合員だけが残り、共同でスーパーを作る計画を進めています。淋しい限りだね」

こう語るのは、菅原市場協同組合理事長の清水政夫氏（現・七〇歳）だ。

仮設住宅はどうなっているだろうか。入居契約戸数が最大となったのは、平成七年一月の四万六千七百戸。今も、その約二割にあたる八九五一世帯が暮らしている。県や市は平成一〇年中にすべての仮設住宅を解消するため、居住者を公営住宅などへ移転させる予定という。

東灘区の住吉公園仮設住宅もそのひとつ。そこには四九世帯が住んでいるが、大半は一人暮らし。自治会では、「老人給食」や「ふれあい喫茶」を開き、みなで寄り合う機会を作っているが、将来への不安は拭いきれない。

「ここでは同じ身の上にある皆さんの友達ができて、一人暮らしでも淋しくありません。しかし、公営住宅に移れば、隣はまるで他人でしょう。人とのつきあいがなくなったら、どうなるんでしょうか」と長谷富美子さん（現・七四歳）が話すと、ご主人と二人暮らしの伊藤悦子さん（現・六四歳）は、「公営住宅に移ったら、友達は呼べるし、お風呂にもゆつくり入れる」と笑顔で語る。

震災は、生活基盤を奪っただけではなかった。心の傷も癒えていないと語るのは、兵庫県荒田分室にある「こころのケアセンター」医師・加藤寛氏だ。

死者二人、重症症者五五〇〇人の無念 今もなお被害者を苦しめるオウム真理教恐怖の記憶 都心パニック「地下鉄サリン事件」!



▲5月16日、上九一色村の教団施設「第6サティアン」で逮捕、護送される松本智津夫。

話をもらったんです」(シズエさん)
「地下鉄サリン事件」が起きた時、霞ヶ関駅の千代田線ホームにいた高橋助役(たかはしすけ)は、オウム真理教の林郁夫(はやしふく)の無期懲役が確定)が午前八時頃に傘の先で穴を開けたサリン入りビニール袋を、車両から運び出した直後に倒れた。
シズエさんは、高橋助役が運ばれた明石町・聖路加国際病院に到着する前から泣き出してしまったという。
「病院に午前十一時半頃に着いた時、夫の体は点滴の針がついたまま、すでに冷たくなっていました」(シズエさん)
一袋六〇〇mlものサリンがまかれたのは、営団地下鉄の千代田線、丸ノ内線、日比谷線。いずれも八時九分から一三分に霞ヶ関駅を通る電車で、出勤時間が他省庁より早い警察庁や警視庁の職員をねらった犯行なのは明らかだった。

「目が見えない」「苦しい」——ラッシュユアワの電車内で満ちた刺激臭に気分を悪くした乗客は、霞ヶ関、築地、八丁堀など一六の駅のホームや出口で、うめき声をあげて倒れこんだ。吐き続けるOL、手足を痙攣(けいれん)させ苦しむサラリーマン。救急車が病院にビストン輸送したが、最終的に二人が死亡、五五〇〇人が重症を負う大惨事となったのである。
六九八人の被害者が運びこまれた聖路加国際病院で治療にあたった、中野幹三(なかの けんぞう)現・九段中野クリニック院長は、「続々とかつぎこまれる患者が廊下まであふれ、まるで野戦病院のようでした」と、振り返る。悲劇はしかし、これで終わったわけではなかった。多くの被害者に、「心的外傷後ストレス障害」という後遺症が現れたのである。
「死の恐怖にさらされた時の心の傷がも



「第7サティアン」内のシバ神。このレリーフの後ろに、サリン製造プラントが隠されていた。



▲平成7年3月20日午前8時すぎ、地下鉄築地駅近くの路上で、応急手当てを受ける

とで、突然、地下鉄での惨状をありありと思い出したり、不眠、集中力や気力の低下などの精神症状、頭痛やめまい、目の痛み、吐き気などの身体症状に悩み、今も仕事や日常生活に支障をきたしている方が多く来院されます」(中野院長)
現在、「地下鉄サリン事件被害者の会」代表世話人をつとめるシズエさんも、こう語る。
「後遺症で会社を退職したり、症状の深刻さを家族に理解してもらえないなど、今もオウムを憎んだり、ひたすら事件を忘れたいと願っている被害者は多い。この事件は、本当に多くの人の人生を変えてしまったのです」



被害者。この日の都心は救急車が走りまわり、パニックにおちいった。

多くの人の人生を変えた
ビニール袋の傘の一突き」
それは、一本の電話から始まった。
平成七年三月二〇日の午前九時頃、営団地下鉄霞ヶ関駅の助役をつとめる高橋正さん(五〇)に、妻のシズエさん(四八)は、パート勤務先の銀行から何度も連絡を入れていた。五月に夫婦で行く予定の、北海道旅行のパンフレットを入手してもらったためだった。ところが、話し中であんなに気がつかない。
「おかしいと思っていた時、臨時ニュースを見た妹から、『担架で運ばれた営団職員はお兄さんじゃないか』という電

わすか〇・五秒が眼や肺に入っただけで、死にいたる毒ガス兵器「サリン」。平成七年三月二〇日の朝、オウム真理教によって、東京の地下鉄でビニール一袋に入った六〇〇mlのサリンがまかれるという、およそ人間のやることとは思えない事件が起きた。あの「地下鉄サリン事件」から四年——無差別大量殺人事件の衝撃は薄れつつあるが、被害者の後遺症も、オウム真理教という集団の不気味さも、いまだに消えていない。

▲9月10日、坂本弁護士の長男・龍彦ちゃんの遺体が、6年ぶりに長野県で発見された。合掌する捜査陣。



一七カ所の拠点を確保 着々と進む教団の復興

「坂本弁護士一家拉致事件」「松本サリン事件」「飯谷さん監禁致死事件」などとの関連が疑われていた教団にとって、「地下鉄サリン事件」は、三月三日に

教団施設の強制捜査を予定していた警察への先制攻撃と言えるものだった。

捜査を目前に控えた三月一八日、教祖の麻原彰晃こと本名・松本智津夫（四〇）の命を受けた村井秀夫（三六）故人は、林郁夫や林泰男、広瀬健一らに「強制捜査のホコ先をそらす。地下鉄にサリンを

言電話をかけてくる信者に危険を感じ、家の表札をはずして、子どもの三輪車から名前を消した記者もいたという。



▲幹部の村井秀夫が、四月三日夜、東京の教団本部前で刺殺された瞬間

まいてもらいたい」と切り出したという（林郁夫著「オウムと私」）。「麻原があれだけの事件を起こした背景には、社会を大混乱におとし立てて名を残したいという歪んだ野望があったと思います。彼に、普通の犯罪者の心理はあてはまりません」と語るのは、自身も教団に命をねらわれたジャーナリストの江川紹子氏だ。実際に当時、おそれられたのは第二のテロだった。

「電車でジュースがこぼれただけで防護服姿の隊員が出動したり、飛行機雲を毒ガスと見間違えて殺到する。こうしたことの連続で、警察だけでなく、記者の神経も張りつめっぱなしだった」と、当時NHK警視庁キャップの磯部成夫氏は語る。真夜中に無

言電話をかけてくる信者に危険を感じ、家の表札をはずして、子どもの三輪車から名前を消した記者もいたという。



▲幹部の村井秀夫が、四月三日夜、東京の教団本部前で刺殺された瞬間

公判が四年目に入った平成一〇年の時点で、一九二人の被告のうち、一番で一九九人に有罪、一人に無罪判決が下され、松本被告を含む二人が今も東京地裁で公判中だ。

三年前に破産宣告を受け、組織延命に汲々としているか見える教団だが、経営するパソコンショップなどによる資金をもとに、今では「七カ所の拠点（公安調査庁調べ）を確保し、埼玉県川村に不動産を購入。新たな住民トラブルさえ引き起こしている。こうした教団復興の現状について、江川氏はこう分析する

「ロックバンドの結成やサークル活動による『明るく楽しいオウム』を演出し、イメージチェンジをはかっています。そうすることで信者拡大をねらっているわけですが、彼らは今も、事件当時同様、いくつもの顔を持っているのです。法廷では教団を否定し、『家族のもとに戻ります』と語りながら、釈放されたその日に復讐する信者もいます。自分たちの『真理』のためなら嘘もつき、何でもやるという本質は変わっていません」

▲幹部の村井秀夫が、四月三日夜、東京の教団本部前で刺殺された瞬間

女たちの肖像

稲葉真弓

あつという間の連発！ 「小型発電機」伊達公子の 世界ランク第四位と引退

「世界のトップに立つことなど、夢のまた夢」と言われてきた日本テニス界に、奇跡的な事件が起きた。この年、平成七年一月、伊達公子（二五）が、女子テニス協会（WTA）発表の世界ランキング第四位に上昇、日本選手史上最高をマークしたのである。ちなみに一位はグラフ（独）とセレス（米）、二位はマルティネス（スペイン）、三位サンチェス（同）だった。

彼女の戦歴に勢いがつき始めたのは平成二年からだ。全豪オープンで日本人として三年ぶりにベスト一六に進出、翌三年にはバジニアスリムズ・ロサンゼルス大会の準決勝でトップスリーの一人であるサバチニを破ったかと思うと、四年には世界ランク五位のサンチェスに完勝。同年、敗れたが、女王「グラフ」に互角の戦いを展開した。六年にはフェルナンデスとマルティネスを破り、同年七月世界ランキング五位。またたく間の快進撃だった。そしてこの年、彼女は日本テニス界が長年夢見



「世界のキミ」のさわやかな笑顔。

た「世界の頂点」を間近にしたのである。「スモールダイナモ（小型発電機）」と呼ばれる彼女が、テニスを始めたのは小学校一年生の時。昭和四五年、京都に生まれた彼女は、地下鉄の駅長をしている父親と母親がよつていた地元のテニスクラブで、球拾いを遊びとして育った。父親の手作りのラケットを持つようになってブレイクに目覚めた少女は、京都の名門「四の宮クラブ」に入会して基礎を積み、テニスの名門高校、神戸の園田学園に入学。三年生の時、インターハイで単、複、団体の三冠を制覇、六年、卒業と同時にプロになった。天性の勘のよさ、負けず嫌いの性格、球の上がりっぱなをたたくライジングのうまさ……いずれも彼女の強さの秘訣を語る言葉だが、プロ入りしてわずか数年で「世界のキミ」となった彼女の引き際も、また、あつけないほど早かった。

「テニスが私のすべてではない」「二五歳で結婚して引退したい」と口癖のように言っていた彼女は、世界ランキング四位になった翌年八月、ニューヨークでのヒンギス戦を最後に突然引退を表明。多くのテニス関係者も寝耳に水の、彼女みずからが下した電撃的な決断に驚いた。

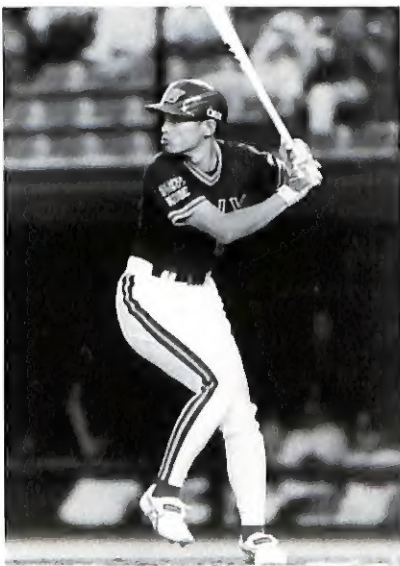
俳優・中井貴一との結婚も噂されたが、この話は自然消滅。今、彼女は、全国各地で子どもたちにテニスを教える教室を開業、指導者としての道を歩き始めている。

勝者・敗者

阿部珠樹

大震災から二四五日目に 「がんばろう KOBEBE」を ブルーウェーブが実現！

この年、一月七日の「阪神・淡路大震災」で、神戸の町は大きな被害を受けた。神戸に本拠をおくオリックス・ブルーウェーブも、一時、練習場が使えなくなるほどの影響をこうむったが、それ以上に、選手たちへの心理的影響は甚大だった。声援してくれた人々の多くが、家や家族や友人を失い、傷ついている。その人々を、なんとか励ますことはできないだろうか。ブルーウェーブの選手たちは、特別な決意で始まったこのシーズン、先頭に立つてチームを引っばったのはイチロー（二二）だった。前年、突然登場して、シーズン二〇〇安打の大記録を打ち立てたイチローは、この年も絶好調で、打率はかなり、一時は打点、ホームランの両部門でも首位に立ち、三冠王もねらえる活躍を見せた。



「イチローも」振り子打法でチームを引っばった。

投手陣では二〇歳の平井正史が一五〇をを超える快速球とフォークボールでストッパーとして大奮闘する。大柄なニールと小兵のD・Jという外国人選手二人のコンビネーションも、効果的に攻撃陣にメリハリをつけた。

チームを率いて二年目の仰木彬監督の采配もさえた。相手投手に合わせて、目まぐるしく選手を入れ替え、その入れ替えがごとく成功する「仰木マジック」で、チームを一年ぶりのリーグ優勝に導いている。そしてついに神戸中が喜びに沸く日が訪れた。九月一日、ライバル・西武の本拠地、西武球場で、仰木監督が大きく宙に舞ったのだ。

イチローのバックスクリーン直撃ホームラン、平井の抑えと、シーズンを集約するような試合ぶりでも西武を圧倒し、オリックスはリーグ優勝を決めた。

「未知との遭遇です」優勝の感想を聞かれたイチローは、表現しきれない複雑な感情をそんな言い方で口にした。

震災から二四五日、ユニフォームに縫いつけた誓いが、みごとに実った日だった。

1995

フォト＋日録で再現する365日

一月一七日早朝、兵庫県南部を襲った「阪神・淡路大震災」は、文字どおり日本を揺るがした。三月二〇日、東京では無差別殺人をねらったオウム真理教による地下鉄サリン事件が勃発、そして、九月の沖縄少女暴行事件は、「戦後五〇年」の日米安保体制見直しを迫った。

▲天皇・皇后、「慰霊の旅」へ(7月26日)戦後50年にあたり、戦争犠牲者を追悼し平和を祈るため、五月8日まで長崎、広島、沖縄、東京の慰霊施設を訪れ、参拝は27日、広島平和記念公園、原爆慰霊碑でお二人。

共同通信社



日録 20世紀1995

1月



読売新聞社

▲愛犬家失跡事件、解決へ(1月5日)埼玉のペット業者と前妻を逮捕。取引でもめた客など4人を次々殺害、遺体は解体してドラム缶で焼却していた。

▲神戸製鋼、V7(1月15日)東京・国立競技場で行われたラグビー日本選手権で、大東大に102対14で圧勝。写真は、先制トライの平尾誠二。



共同通信社

▶アンデレちゃんに笑顔(1月27日)最高裁が逆転判決。長野県の病院で生まれ、両親が不明だった幼児の、日本国籍請求を認めた。写真は、喜びの養父母の米人牧師夫妻と。

▼ロシア軍、チェチェンの首都制圧(1月19日)ドゥダエフ大統領ら独立派は、南部の山岳地帯に拠点を移しゲリラ戦で抵抗。7月、軍事停戦が合意されたが、戦闘は続いた。



ロイター・サンテレフット

▶米国産リンゴ、初入荷(1月9日)「規制緩和」が進む中、国内農家の反対を押しての輸入解禁。韓国・ニュージーランド産に続くもので、輸入食品の急増は、残留農薬など安全性論議に火をつけた。写真はスーパー店頭。



朝日新聞社



共同通信社

▲凍結北陸道で28台玉突き(1月10日)滋賀県の本之木インター付近で、ワゴン車がスリップして横転したため次々追突。3人が死亡、25人が重軽傷。

- 平成7年1月
- 1 目 ●政党助成法など政治改革関連「法」施行。
●WTO(世界貿易機関)、発足。
 - 2 月 ●イスラエル政府、ユダヤ人入植地拡大の場所を変更(ヨルダン川西岸での拡大禁止)。
 - 3 月 ●山梨学院大、二年連続三度目の箱根駅伝優勝。
●WHO(世界保健機関)、世界のエイズ患者が一〇〇万人突破、と報告。
 - 4 月 ●長野県の中央アルプス・宝剣岳の千畳敷カールで雪崩が発生し、巻きこまれた六人が死亡。
 - 5 月 ●愛犬家失跡事件(平成5年4月)で埼玉県江南町のペット業者逮捕(殺害を自供)。
 - 6 月 ●郵政の利率、〇・〇五引き下げと発表。
 - 7 月 ●名護市で不明の児童、タンク車内で遺体発見。
 - 8 月 ●イラン、ロシアとの原発建設契約に調印。
 - 9 月 ●自由化最終段階で米国産リンゴが店頭へ。
 - 10 月 ●凍結の北陸自動車道で二八台衝突、死者三人。
訪米中の村山富市首相、クリントン大統領と会談(日米安保体制維持を確認)。
 - 11 月 ●志木市で住民基本台帳のコピー流出が判明。
 - 12 月 ●経営破綻した東京協和・安全信用保証会社、日銀などの出資による東京共同銀行、発足。
 - 13 月 ●船木和喜、H.T.B杯ジャンプで国内初勝利。
 - 14 月 ●神戸製鋼、七年連続ラグビー日本一。
 - 15 月 ●東京の地価、ニューヨークの七倍と国土庁。
 - 16 月 ●阪神・淡路大震災、発生。神戸と洲本で震度六の烈震、六〇〇人以上死亡。
 - 17 月 ●防衛施設庁、沖縄基地の整理統合本部を設置。
 - 18 月 ●ロシア軍、独立掲げるチェチェンの首都制圧。
 - 19 月 ●米国政府、北朝鮮への経済制裁一部解除発表。
 - 20 月 ●成田空港問題の小川嘉吉代表、闘争終結表明。
 - 21 月 ●大相撲初場所新横綱の貴乃花、三連覇。
 - 22 月 ●小澤征爾、三年ぶりにN響を指揮。
 - 23 月 ●ニューミュージック歌手の長瀬剛、大所帯持容疑で逮捕(2月3日、処分保留で釈放)。
 - 24 月 ●ロシア空軍、ノルウエーの科学実験ロケットをミサイルと誤認し、警戒態勢。
 - 25 月 ●PLO(パレスチナ解放機構)とヨルダンが協力協定に調印。
 - 26 月 ●最高裁、無国籍児訴訟で男児に日本国籍承認。
 - 27 月 ●米軍とベトナム、首都に連絡事務所開設。
 - 28 月 ●震災後、ホロコースト否定記事を掲載した月刊誌「マルコポーロ」の廃刊を決定。
 - 29 月 ●文藝春秋、ホロコースト否定記事を掲載した月刊誌「マルコポーロ」の廃刊を決定。
 - 30 月 ●天皇・皇后、兵庫県下の地震被災地を訪問。
 - 31 月 ●天皇・皇后、兵庫県下の地震被災地を訪問。



ロイター サンテレフォ

▲欧州北西部で大洪水(2月)長雨のため、今世紀最大の被害。オランダでは約25万人が避難。写真は6日、ワール川付近の水没したハイウェーを行くウィンドサーファー。



共同通信社

▲小泉今日子(29)、結婚会見(2月22日)式や披露宴は行わず、夫・永瀬正敏が撮った小泉の写真展が披露目。2年前の雑誌の対談以来の交際だった。



読売新聞社

▲海自飛行艇、転覆(2月21日)高知県沖の豊後水道で、岩国基地所属の「US1A」機が着水に失敗。11人死亡、生存者は一人。高性能を誇る国産機の事故の衝撃は大きかった。

報知新聞社

大地震の爪跡



共同通信社

▲荻原健司(25)、史上初の総合3連覇(2月19日)オーストリアで行われたノルディックスキー複合W杯個人戦で、距離15キロを制して優勝。通算勝利16も新記録だった。

▲西島洋介山、クルーザー級初代王座に(2月19日)ロサンゼルスで開かれた北米ボクシング機構のチャンピオン戦で、カイザー(米)を破り、ヘビー級の下、86キロ以下を制した。



県南部地震



AP WWP



▲アンネ・フランク五十年忌(3月)ユダヤ人強制収容所で死亡後50年目のこの月、「アンネの日記」最新版が発行され、隠れ住んでいたアムステルダム「アンネの家」には観光客の長蛇の列。

AP WWP



朝日新聞社

▲西淀川公害訴訟、17年ぶり和解(3月2日)大気汚染に苦しむ519人に対し、関西電力など阪神工業地帯の10社が約40億円の支払いを約束。

▼英・名門銀行を倒した男、逮捕(3月2日)シンガポール国際通貨取引所でデリバティブ取引などに失敗。所属する創業233年の商業銀行・ペアリングス社に、10億ドルの損失を与えた。



証言・あの日この日 香山リカ(34)



4月18日(火)〈今回のオウム真理教の一連の捜索でも、親の出家に伴って来た子どもたちのことがずいぶん話題になった。ワイドショーなどで見るかぎり、当初は、子どもたちはカメラに向かってピースサインをしたりはしゃいで走り回ったり、町にいる子たちとそう変わりなく見えた〉(香山リカ「自分なりの選択」)

この頃、香山リカは、精神科医という立場から、出家したオウムの子たちに関心をもち、じっと観察していた。その姿は、一見、幸せそうに見える。だが、実は、親に押しつけられた、ひとつの宗教的価値観に洗脳されているにすぎない。そこで香山は、学校の役割の重要性を再評価する。学校こそ、ひとつの価値観に縛られることなく、多様な価値観や考え方を知り、その中から〈自分なりの選択〉を訓練する場所なのだ、と。(山崎行太郎)



時事通信社

▲2信組事件、大蔵スキャンダルへ(3月)乱脈融資で解散した東京協和・安全両信組問題が、官僚の腐敗を露呈。写真右は9日、国会証人喚問の東京協和・高橋治則元理事長。左は高橋から「過剰接待」の東京税関長・田谷広明。



共同通信社

平成7年2月

- 1(水) 宇都宮、北大附属病院の遺伝子治療を初承認。
- 2(木) 連続幼女誘拐殺人事件で殺人罪に問われた宮崎勤被告の公判が約2年ぶりに再開。
- 3(金) 山田重雄・元バレーボール協会常務理事、外為法違反で書類送検。
- 4(土) 愛知県警、送金システムを悪用し一億四〇〇〇万円引き出した東海銀行元行員三人逮捕。
- 5(日) 伊達公子、テニスの東レ・パンパシフィックで日本人として初優勝。
- 6(月) 北沢(北海道成層圏)、負債総額八八億円で会社更生法の申請受理されて倒産。
- 7(火) 大リーグの労使紛争で米大統領が調停活動。
- 8(水) 前年の国際経済黒字が四年ぶり減少と大蔵省。
- 9(木) 松戸市の女子短大生誘拐事件で指名手配中の容疑者が、鹿児島県で排ガス自殺。
- 10(金) 証券監査委、清水銀行・丸紅建設機械販売をインサイダー取引疑惑で刑事告発。
- 11(土) 長野県安曇村の道路工事現場で高温水蒸気が噴出し、作業中の四人が生き埋めとなり死亡。
- 12(日) PLOとイスラエル、交渉再開に合意。
- 13(月) 近鉄を退団した野茂英雄、ドジャースと契約。経営破綻の東京協和・安全両信組、解散決定。
- 14(火) 警視庁、二所ノ関親方を賭博現行犯で逮捕。
- 15(水) 最高裁、山形マッド死事件(平成5年1月で三少年の保護処分取り消しの再訴を棄却)。
- 16(木) ダイエー、九州・首都圏など〇店舗閉鎖へ。
- 17(金) 高校中退者、昭和五十七年以来初の〇万人割れと文部省発表。
- 18(土) 京都市、景観保護で懲役刑導入の条例制定へ。
- 19(日) 荻原健司、スキー複合W杯で史上初の3連覇。
- 20(月) 住友金属工業の女性社員、男女雇用機会均等法に基づく初の調停案を拒否。
- 21(火) 海上自衛隊救難飛行艇、高知県沖で着水に失敗し転覆。乗員一人死亡、生存者一人。
- 22(水) 最高裁、ロッキード裁判丸紅レトリブション判決。故・田中角栄元首相の収賄が確定。
- 23(木) 再処理放射性廃棄物を積んだ英国船「パシフィック・ビンター」、フランスを出発。
- 24(金) 閣議、特殊法人一四を七つに統合と決定。
- 25(土) 北朝鮮のナパンター、呉振宇が病死。
- 26(日) 米中、知的財産権保護で合意。
- 27(月) ソマリア駐留のPKO部隊、撤収開始。
- 28(火) 東京・品川で自暴公証役場の仮合宿事務局長を男数人が車で拉致(6月、遺体焼却が判明)。

平成7年3月

- 1(水) 自治省、住民基本台帳番号制導入方針を表明。
- 2(木) 大阪の西淀川公害訴訟で企業側が解決金。
- 3(金) NNTのベア、過去最低の一・八で安値。
- 4(土) 公明党、石原信雄前内閣官房副長官の東京都知事候補推薦を決定(7日、立候補を表明)。
- 5(日) 中国の李鵬首相、経済政策などで自己批判。
- 6(月) 公取委、日本下水道事業団発注工事の入札談合事件で大手電機メーカーなど九社を告発。
- 7(火) 富山地裁、間米販売業者に罰金判決。
- 8(水) 東京都、東京港沖の新ゴミ処分場建設問題で補償金などについて千葉県漁連と合意、調停。
- 9(木) 大阪高裁、即位の礼と大嘗祭への国費支出差し止め求めた訴訟で遺囑の疑い否定できずと。
- 10(金) 米国の失業率、五・四に低下と米労働省。
- 11(土) 宮内庁、スピードスケートW杯一〇〇〇円で日本男子初の種目別総合優勝。
- 12(日) 年寄りの一人暮らし、最高の二二〇万人と。
- 13(月) 東京協和信組元理事長の自家用機で旅行した田谷広明東京税関長、更迭。
- 14(火) 「輸銀」と海外協力基金の四年後の統合決定。
- 15(水) スキー世界選手権の複合団体で日本が四連勝。
- 16(木) 製薬七社、遺伝子治療薬の開発研究所を設立。
- 17(金) シンガポールで幼児殺害容疑のフィリピン人家政婦の死刑執行を発表(両国関係が悪化)。
- 18(土) 純国産大型ロケット「H2」、打ち上げ成功。
- 19(日) 東京都現代美術館、開館。
- 20(月) 東京都内の営団地下鉄内で、同時多発的なサリン殺人事件。二二人死亡、五五〇〇人被害。
- 21(火) WTO初代事務局長にルッジーロ元イタリア貿易相の就任が内定。
- 22(水) 警視庁、山梨県上九一色村などオウム真理教施設を捜査(サリン原料を発見)。
- 23(木) NEC、初の半導体インドネシア工場建設へ。
- 24(金) 無人深海探査機「かいこう」、マリアナ海溝の世界最深部一萬九一〇〇メートルに到達。
- 25(土) フィリピン、南沙諸島で中国漁船捕獲と発表。
- 26(日) 大相撲春場所横綱、一年ぶりの優勝。
- 27(月) トム・ハンクス、二年連続オスカー受賞。
- 28(火) 三菱、東京両銀行、翌年の対等合併合意発表。
- 29(水) 三年前から中断の白朝正常化交渉再開に合意。
- 30(木) 国松孝次警視庁長官、東京・荒川の自宅マンション前で男に撃たれて重傷。
- 31(金) 堀江鉄弥日本長期信用銀行(長銀)頭取、二信組の乱脈経営問題で引責辞任。

▶金大中「悪夢」の現場へ(4月16日)「拉致事件」の舞台となった東京・飯田橋のグランドパレスと元事務所を、22年ぶり再訪。左は夫人。右は元秘書。

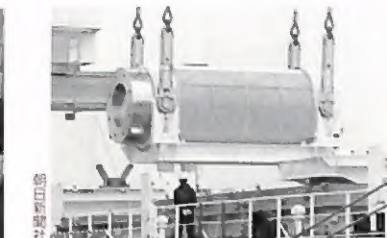


共同通信社

▼横浜で異臭騒ぎ(4月19日)駅構内などで発生。毒ガスのホスゲンとされ、サリン事件の恐怖が蘇ったが、7月になって犯人逮捕。防犯スプレーだった。



読売新聞社



▲「核のゴミ」陸揚げ(4月26日)仏核燃料公社からの返還分が、青森県知事の拒否にあい、むつ小川原港沖で立ち往生。最終処分地にしない条件で、六ヶ所村での一時貯蔵が決定。



ロイター・サッパ・アソク



AP・WFP

▲米国・オクラホマ州の連邦政府ビルで、爆破テロ(4月19日)停車中の車が突然爆発。託児所の乳幼児を含む200人が死亡、400人が重軽傷。極右過激派3人が逮捕された。



読売新聞社

▶ルワンダで難民キャンプ銃撃(4月22日)ツチ族主体の政府軍が、フツ族5000人を虐殺。前年、部族融和政権が成立、内戦は終結したと見られたが、依然情勢は不安定だった。

◀新潟北部に直下型地震(4月1日)マグニチュード6.0。負傷61人のほとんどは落下物が原因。阪神・淡路大震災の教訓は生かされず。写真は、崩れた県指定文化財・市鳥家。



▲アメリカ杯、ニュージーランドが優勝(5月13日)米・サンディエゴ沖で行われた144年の歴史を誇るヨットレースで、米国から史上2度目の王座奪取。日本は準決勝敗退。



共同通信社

▶日本産朱鷺、絶滅が確定(5月11日)中国産の雌と交尾(写真)。しかし雄が死亡、卵は孵化せず、日本産朱鷺は繁殖能力のない雌1羽のみとなった。

▼日本隊、未踏ルートでエベレスト征服(5月11日)日大チームが北東稜に挑戦。ピナクル(岩峰)群を踏破、古野淳登隊長(34、写真右)らが登頂に成功。



共同通信社

▲長良川河口堰、本格運用へ(5月22日)環境保護が治水・利水かの、27年間にわたる論議を打ち切るように、野坂建設相がゴーサイン。生態系への影響は必至。



共同通信社

▶横綱貴乃花(22)、結婚(5月29日)花嫁は元フリーアナウンサーの河野景子さん(30)。東京・明治神宮で式をあげ、ホテル・ニューオータニで披露宴を開催。この年、貴乃花は4場所を制した。

▲エボラ出血熱が流行(5月)中部アフリカ、ザイールの町・キクウィで100人を超す死者。血液や体液によって感染するウイルス性伝染病で、軍が町を隔離し、6月にWHOが終息宣言した。



AP・WFP

平成7年4月

- 1(土) 新潟県でM6.0の直下型地震、六一人負傷
- 2(日) 前年八月から中断のリーグ、開幕が決定
- 3(月) 第二回最優秀棋士賞に羽生善治名人
- 4(火) 名古屋家業、前年の西尾市中「男子」「いじめ」自殺事件でかわった生徒三人を少年院送致
- 5(水) 選抜野球、香川・観音寺中央高校が初陣初優勝
- 6(木) 郵政省、NTTのあり方を電気通信審議会に諮問
- 7(金) チリとキューバ、二年ぶりの国交回復合意
- 8(土) オウム真理教幹部、林郁夫ら「信徒監視」逮捕
- 9(日) 第三回統一地方選挙(東京・大阪両知事選で無党派の青島幸男、横山ノックが当選)
- 10(月) 松下電器、米国音楽会社・MCAの株式売却
- 11(火) 国連安保理、非核国の安全保障決議
- 12(水) アフガニスタンでロシア保護を目的としロシア軍が爆撃、五人死亡(13日、再爆撃)
- 13(木) 最高裁、個人鑑別用ホルン輸入も刑罰の対象と、東京高裁の関税法無罪判決を破棄
- 14(金) 日銀、公定歩合を〇・七五引き下げ、史上最低の一割に(9月8日、さらに〇・五割下げ)
- 15(土) 海老名市の建設作業員宿舎の八人焼死事件(前年7月で、無職の少年が放火と供述)
- 16(日) バリ島で開催のアジア太平洋経済協力会議(APEC)、為替安定強調の共同声明
- 17(月) 日中ベアの大規模な産卵30日雄のミドリ死亡
- 18(火) 閣議、最高刑が無期懲役のサリン法を決定
- 19(水) 東京外国為替市場で、一七九円七五銭記録
- 20(木) キュリー夫人、仏の偉人が眠るバンテンオン
- 21(金) 国民栄誉賞で二〇歳代男性の飲酒離れ進む
- 22(土) 日本学術会議(罰予防法)の廃止決議
- 23(日) 東京・青山のオウム真理教東京本部前で、村井秀夫が男に腹を刺される(翌日死亡)
- 24(月) 郵政省、テレビの二県四チャンネル見直しへ
- 25(火) 仏から返還の放射性廃棄物積載の輸送船、青森県むつ小川原港沖に到着(翌日、入港)
- 26(水) ウクライナ当局、事故九周年で四〇万人にチェルノブイリの後遺症と発表
- 27(木) 中国共産党、陳希同・北京市書記を更迭
- 28(金) 韓国・大邱市の地下鉄工事現場でガス爆発
- 29(土) 前年度の老人保健負担、初の八兆円台に
- 30(日) ホーチミン市でベトナム戦争終結二〇周年行事

平成7年5月

- 1(月) 第六回メーデーに首相が史上初の出席
- 2(火) ドジャースの野茂英雄投手、初先発(シーズンは三勝六敗でナリーグ新人王に)
- 3(水) オウム真理教顧問弁護士・青山吉伸を、山梨県の教団施設関連の名譽毀損容疑で逮捕
- 4(木) 経済協力開発機構(OECD)、途上国援助(ODA)の対象国基準を強化
- 5(金) 東京・西新宿の地下街で青酸ガス装置発見
- 6(土) ロンドンで欧州戦線終結五〇周年の記念式典
- 7(日) フランス大統領選でジャック・シラクが当選(保守・中道の大統領は一年ぶり)
- 8(月) クリントン米大統領、対イラン制裁令に署名
- 9(火) 社会党の山花貞夫前委員長、新党結成ができず離党表明(新党準備会の六人も離党)
- 10(水) 二信組事件で「イ・アイ・イ」など強制捜査
- 11(木) 核不拡散条約(NPT)、無期限延長を採択
- 12(金) 窃盗罪で起訴された男が、大阪・奈良の女性四人のバラバラ殺人などを自供
- 13(土) 伊豆大島で高一生四人、上級生に堤防からの飛びこみを指示され水死(一人は行方不明)
- 14(日) 林郁夫容疑者、地下鉄サリンの犯行を認める
- 15(月) 権限と財政を移す地方分権推進法が成立
- 16(火) 地下鉄サリン事件の中心人物として「麻原彰晃(松本智津夫)代表を殺人容疑などで逮捕
- 17(水) 政府、前日の日米自動車協議での制裁リスト(二〇〇開関税)をWTOに提訴
- 18(木) 気象予報士資格で天気予報が自由化に
- 19(金) 米国の地産から数千万年前の微生物復活に成功「サイエンス」誌に
- 20(土) 土木学会、大地震想定の際震害軽減を提言
- 21(日) WHO、中部アフリカでエボラ出血熱が流行し、一〇一人死亡を発表(6月1日、終息宣言)
- 22(月) 七人死亡の松本サリン事件(前年6月27日)もオウム真理教の犯行、と判明
- 23(火) 三重県長島町の長良川河口堰が運用を開始
- 24(水) 川島郭志、WBC世界J・バンタム級タイトルマッチで三度目の防衛
- 25(木) 長崎の雲仙普賢岳に活動停止宣言
- 26(金) 北朝鮮、渡辺美智雄元外相に米支援要請
- 27(土) ロシア参加で「新コム」発足の見通し
- 28(日) ロシア・サハリン州北部でM7.5の大地震
- 29(月) 横綱貴乃花、河野景子さんと挙式
- 30(火) 東京六大学野球で法大が二季連続優勝
- 31(水) 青島東京知事、世界都市博中止を正式決定



共同通信社



読売新聞社

▲北朝鮮、コメ支援要請(6月22日)天候不順と洪水被害のため、面子を捨てた。写真は、韓国で始まった第1次分15万トンの船積み。日本も支援を約束。

▲お中元には防災ギフト(6月)阪神・淡路大震災の記憶をたぐやらず、お中元セールに保存用飲料水、缶詰類などが勢ぞろい。東京・日本橋のデパートで。

▲武豊(26)・佐野真子(26)、結婚(6月5日)昭和62年デビュー以来、数々の記録を塗り替え、前年、史上最短で900勝を達成した天才騎手が、7年越しの恋を成就。

▶国松次官警察庁長官、復讐(6月15日)東京・荒川で出勤途中に撃たれ重傷を負って以来、2か月半ぶり。オウム真理教による犯行の可能性が強いと言われた。

▲中国を怒らせた台湾総統訪米(6月9日)写真は母校・コーネル大で講演、聴衆の歓呼にこたえる李登輝総統夫妻。中国は17日、大使を召還、米中関係が悪化。



毎日新聞社



小林忠春 朝日新聞社



ロイター・サンテレフォト

▲「エノラ・ゲイ」初の一般公開(6月28日)ワシントン・スミソニアン航空宇宙博物館が、中止になった原爆展の代わりに、広島に原爆を投下したB29爆撃機を展示。展示に反対するグループのメンバーが、館内で騒いで逮捕。



共同通信社

「現場」を歩く 山本徹美

敦賀

「もんじゅ」への不安と不信で
三万人が運転再開反対!

平成七年二月八日、福井県敦賀市にある高速増殖炉「もんじゅ」で、ナトリウム漏洩事故が発生した。「もんじゅ」はプルトリウムを燃料とし、核分裂で生じた熱を電力に転換しながらも、燃焼するに要した燃料よりも多いプルトリウムを「増殖」できる。エネルギー資源の枯渇が危惧される二世紀に向かつて、プルトリウムは四〇〇年以

上供給可能で、化石燃料と異なり炭酸ガスを排出しないため、地球温暖化防止にも効果的とされる。反面、プルトリウムは毒性が強く、原爆への転換が容易で、高レベル放射性廃棄物を出す。動燃(動力炉・核燃料開発事業団)は昭和六〇年、「もんじゅ」を建設。平成七年八月、初発電。その後、電気出力を上げる段階で、冷却材に使っていたナトリウムが配管ダクトの温度計溶接部からもれた。管内のナトリウムは五〇〇度前後だが、空気に触れると激しく燃える。



ナトリウムもれ事故が発生した場合、動燃は即刻、原子炉の運転を停止し、自治体に報告しなくてはならない。ところが、それらの対応は一時間以上遅れた。さらに、もれたナトリウムの量が実際には約七〇〇kgあったのに、「ごく微量」と過少に虚偽の報告。事故直後の現場を撮影したビデオがありながらも、その存在を否定、ひた隠し、改竄するなど、隠蔽工作が発覚。翌月には自殺者を出す事件に発展した。

運転再開か廃炉か

平成一〇年一月一日、動燃は「核燃料サイクル開発機構」として新たに発足した。その一週間後、「もんじゅ」建設所を訪ねてみた。事故以降、原子炉の運転は停止中だ。中西征二技術主幹の解説。「調査の結果、温度計のサヤ部分に渦が生じ、流体力学を誘発、それが金属疲労

となり、サヤを折って、事故につながった。その時点では未知の現象で、対策が不十分だったが、現在は万全の状態です」原発関係者は「危険はない」と力説するが、一般市民にしてみれば不安と不信は隠せない。「原子力行政を問い直す宗教者の会」世話人で、「原発銀座・若狭から」などの著書もある中野哲彦氏(五六)小浜市明通寺住職が指摘する。「もんじゅ」運転再開反対運動では福井県民約三万人の署名を集めました。奇しくも二月八日はお釈迦様が悟りを開いた成道会。事故は文殊菩薩の警告ととらえ、永久停止すべきです」敦賀市原子力安全対策課の見解。「もんじゅ」に関して市議会では、運転の是非を議論する段階ではない、との意見で一致しています」放射能汚染の恐怖は誰しもよく知るところだが、新エネルギー開発のめどは立たず、電力需要に歯止めをかける手だても見当たらない。文殊の知恵はそう簡単に授かりそうにない。この日、若狭湾は丹後半島や越前岬が望める好天で、「火種」を感じさせないほど燦めいていた。



共同通信社

- 平成7年6月
- 1(木) ●米価高騰、生産者委の四年連続増え過ぎ警告。
 - 2(金) ●国際捕鯨委員会、南極海の調査捕鯨中止を決議。
 - 3(土) ●ボスニア紛争で、英・仏・オランダによる多国籍の緊急対応部隊(RP)創設が決定。
 - 4(日) ●前年出生数約二四万人で二年ぶり大幅増。
 - 5(月) ●介護休業法(平成11年4月施行)、成立。
 - 6(火) ●神奈川県城ヶ島沖に海目(ヘリコプターが墜落)。
 - 7(水) ●台湾の李登輝総統が訪米(米中関係が悪化)。
 - 8(木) ●大手私鉄・営団地下鉄の運賃値上げが認可。
 - 9(金) ●一〇年有効パスポートの一月施行が決定。
 - 10(土) ●米朝、軽水炉提供問題で暫定合意。
 - 11(日) ●松本サリン事件の第一通報者、長野県警捜査本部が謝罪(朝日新聞)など(報道各社も)。
 - 12(月) ●衆院、戦後五〇年決議をめぐり、新進党提出の内閣不信任案、否決。
 - 13(火) ●シラク仏大統領、南太平洋で九月から核実験再開を発表(6月5日に第一回、年内に五回)。
 - 14(水) ●チェチェンの武装集団、ロシア軍の撤退を要求し、ロシア南部へ越境攻撃、病院を占拠。
 - 15(木) ●クリントン米大統領、村山首相との会談で自動車・部品問題での制裁廃止を表明。
 - 16(金) ●大阪南部の池上富根遺跡から弥生中期の日本最古と見られる高床式建物跡を発掘。
 - 17(土) ●衆院予算委、二信組の乱脈融資で山口敏夫元労相と中西啓介元防衛庁長官を証人喚問。
 - 18(日) ●第六回三回ルマン二四時間レースでマクラーレンの関谷正徳チーム、日本人初の総合優勝。
 - 19(月) ●米朝、貨物航空で対日制裁発表。
 - 20(火) ●GDP(国内総生産)・六割成長と、経産省発表。
 - 21(水) ●羽田発函館行き全日空ジャンボ機がハイジャックされ、休職中の銀行員を二六時間後逮捕。
 - 22(木) ●欧州連合(EU)、酒税格差を日本を厚恵へ課せ、家計の被害を、オウム幹部が自白。
 - 23(金) ●平成九年、月から行方不明の母親、取り戻す。
 - 24(土) ●良導半導体の北朝鮮に半導体の多量提供。
 - 25(日) ●九政党への交付金額決定(自民二億四千万)。
 - 26(月) ●スバーのジャスコ、化粧品値下げを発表。
 - 27(火) ●東京地検、東京協和信組の高橋治則元理事長ら四人を責任容疑で逮捕。
 - 28(水) ●日米自動車交渉、数値目標の扱い併記で決着。
 - 29(木) ●二連検定、六連検定で野茂投手。
 - 30(金) ●福岡高院、殺人事件にDNA鑑定否定の判決。

ベストセラー

「あなたはだれ」から始まる『ソフィーの世界』大反響！

この年注目されたのは『ソフィーの世界』で、哲学をテーマにした硬い内容の翻訳本だったにもかかわらず、ベストセラーに名をつらねた。

「四歳の少女・ソフィーのもとに『あなたはだれ？』と問いかける手紙が届くところから、この物語は始まる。ソクラテスやプラトンをはじめ、デカルト、カント、ヘーゲル、マルクスなどの哲学について、手紙による講義が続く。ソフィーは、自分の日常生活やものの見方、考え方などについて、あらためて考えるようになっていく。本文だけで六五五、に

およぶ大部の『哲学書』だけに読み通すだけでもむずかしい本だったが、哲学への関心を高めるベストセラーだった。

また、先端科学の成果をフィクションの世界で展開した瀬名秀明の『パラサイト・イヴ』は、新しいタイプのホラー小説として話題になった。美しい新妻を交通事故で亡くした医学部の助手が、脳死状態の妻の体から肝臓の一部を摘出し、そこから生きた細胞を増殖させ、亡き妻を蘇らせようとする物語。最新の分子生物学や遺伝科学の知識を縦横に駆使して練りあげられた、おそろのべきフィクションであった。

●平成7年のベストセラー

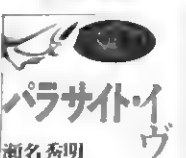
- 1位 『ソフィーの世界』 宗像新樹訳 (2427円)
- 2位 『パラサイト・イヴ』 瀬名秀明 (1359円)
- 3位 『金田一少年の事件簿』 横溝 秀史 (757円)
- 4位 『あなたはだれ』 若原 雅夫 (1000円)
- 5位 『新藤兼人』 新藤 兼人 (1000円)
- 6位 『高橋 節子』 高橋 節子 (1000円)
- 7位 『高橋 節子』 高橋 節子 (1000円)
- 8位 『高橋 節子』 高橋 節子 (1000円)
- 9位 『高橋 節子』 高橋 節子 (1000円)
- 10位 『高橋 節子』 高橋 節子 (1000円)

方、人気マンガを推理長編小説仕立てにした『金田一少年の事件簿』もよく売れた。マンガを原作としたたんなるノベライゼーションではなく、マンガを踏まえ、かつ、トリックも含めて、あくまでもオリジナルの長編推理小説だった。しかもストーリーは、名作『オハラ座の怪人』の芝居と並行して起こる連続殺人事件と、本格的に展開する。マンガの読者も十分満足できるだけのものを持つ内容だった。

ソフィーの世界



▲『ソフィーの世界』 (2427円)



▲『パラサイト・イヴ』 (1359円)



▲『金田一少年の事件簿』 (757円)

スターと名場面

高齢者にスポーツをあてた新藤兼人「午後の遺言状」

不安な時代を象徴するかのような映画が、この年ヒットした。地球環境の激変とかかわりのある怪獣・ギャオスが日本に襲いかかる『ガメラ 大怪獣空中決戦』もそのひとつ。完璧な生命体・ギャオスは、人間を食べて成長する危険な怪獣。これに闘いを挑んだのが、人類の守護神ともいえるガメラだ。日本に向かうブルトニウム輸送船に異常が起きるところから始まるストーリーには、現代社会への率直な批判がこめられていた。

また『トイレの花子さん』は、子どもたちの間に広がる怪談幻想をテーマとしながら、仲間はずれや友情、信頼といっ

た関係を通して、大きく揺れ動く思春期の心情を、みごとに映像化してみせた。これと対照的に高齢者のしたたかさや悲哀を浮かび上がらせた、新藤兼人監督の『午後の遺言状』も、この年公開された。老いた女優がすくすく別荘地での出来事を描いたもので、ベテラン女優たちの、地でゆく演技が楽しい映画でもあった。この年、ほかにも次々とした作品が公開された。かつこ内はおもな出演者、『マディソン郡の橋』(クリント・イーストウッド、メリル・ストリープ)、『ブレスト・ガンズ』(期・会) (トム・ハンクス)。



▲『午後の遺言状』が最後の映画出演となった乙羽信子(左端)と杉村春子(右端)。



▲『ガメラ 大怪獣空中決戦』での、ギャオス(左)とガメラ(右)の決闘シーン。



▶『トイレの花子さん』では、河野由佳(手前)や前田愛(右端)ら、子役の好演が目立った。

モノ語り'95

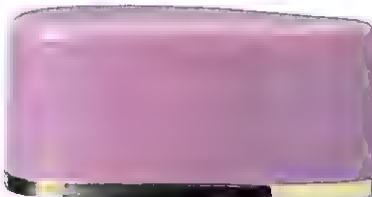
女性の心をつかんで大評判！『ディオールスヴェルト』『クイックルワイパー』アパガードM



▲デジタルカメラが実用的になった この年3月にカシオ計算機から発売されたデジタルカメラ「QV-10」は、半導体メモリーに静止画像を記録し、パソコンでその画像を加工・保存できるという新新さで人気を呼んだ。大きさも携帯に便利なコンパクトサイズで、価格は税別で6万5000円。

▼コマーシャルで爆発的人気 この年、サンギが発売した、「歯を白くする」歯磨き「アパガードM」が注目を集めた。平成5年から通販で発売していたが、この年「芸能人は歯が命」をキャッチコピーにしたテレビCM(38ページ参照)で、スーパーやコンビニエンスストアでの販売も開始。年間1300万本(1本40グラム換算)を売り上げた。価格は120グラム入り2800円、40グラム入り980円だった。

▲やせるボディケア商品に圧倒的人気 ヨーロッパで評判のボディ用ジェル「ディオール スヴェルト」が、この年ついに日本に上陸。パルファン・クリスチャン・ディオールから発売され、半年間で100万個を売り上げるヒット商品となった。肌を引き締め、スレンダーなラインを実現させるというで大評判。200ミリリットル入り、6000円だった。



DIOR SVELTE

CONCENTRÉ
MODELEUR
BODY REFINING GEL

Christian Dior
PARIS



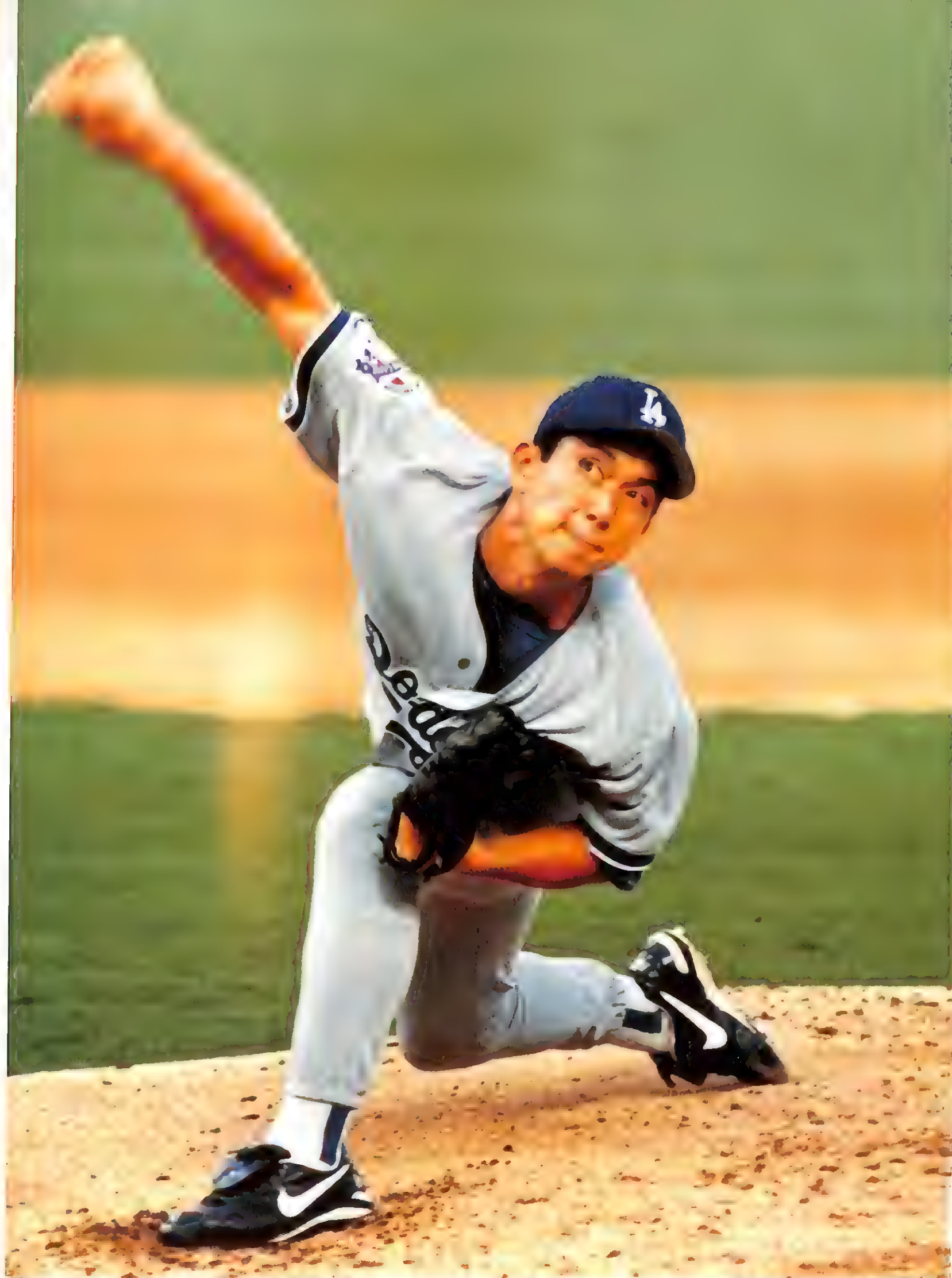
▲「一人に1台携帯電話」時代の幕開け この年、携帯電話の新規加入料、基本使用料などが大幅に値下げされ、契約者数が一気にふえた。NTT 移動通信網では新規加入料を6000円まで下げ、12月には従来の「デジタル・ムーバ」に各種新機能を搭載した新シリーズを発売した。写真は「デジタル・ムーバ101 HYPER」シリーズで、左から「D101」(8万3000円)、「F101」(8万円)、「N101」(6万9000円)、「P101」(8万円)。

▲フローリング用の掃除用具がヒット フローリングの部屋に合せて開発された掃除用具「クイックルワイパー」が、前年の10月花王から発売され、この年、年間売り上げ120億円という大ヒット商品となった。簡単な組み立て式で、床の上を片手で滑らせるだけでホコリや髪の毛をキャッチするという手軽さが、主婦層に受けた。価格は本体が2000円(シート5枚つき)、取り替えシートは10枚入り350円、20枚入り500円だった。



▼本格的カラオケが家庭でOK この年、タイターから発売された家庭用通信カラオケ「X-55」は、送元と一般家庭を電話回線をつなぎ、歌いたい曲をテレビに呼び出すという装置。新曲を含めて1万曲以上の歌が楽しめる、本格的なカラオケだった。本体価格は税別で6万4800円。発売後2ヵ月で4万台を売るヒット商品となった。





人物クローズアップ

野茂英雄(二六)

全米が注目した鮮烈デビュー 大リーグにトルネード旋風!

サンフランシスコのキャンドルスティック・パークは、アメリカ大リーグ、サンフランシスコ・ジャイアンツの本拠地である。平成七年五月二日(日本時間三日)の夜、市の郊外にあるこの球場は異様な雰囲気包まれていた。

前年の八月一日から続いていたストライキがようやく終わり、アメリカ大リーグは四月二五日に開幕した。すでにナショナルリーグの名門、ロサンゼルス・ドジャースへ入団し、キャンプから順調な仕上がりを見せていた野茂英雄(二六)は、この日の対サンフランシスコ・ジャイアンツ戦に先発デビューすることが決まっていた。その野茂の右腕を、日本はもとより全米中が注目していたのである。

試合は初回、ツーアウトからたてつづけに三つの四球を出し、満塁のピンチに立つというドラマチックな展開で始まった。六人目の打者を三振に取り、ピンチを切り抜けた野茂の投球は、以降、本来のリズムを取り戻し、予定の五回まで投げ、被安打一、奪三振七、無失点というみことなピッチング。この試合は結局、

一四回までゼロ行進が続き、一五回にジャイアンツのサヨナラ勝ちで終わったが、話題は野茂に集中した。翌日の「ニューヨーク・タイムズ」は、一面で野茂のデビュー戦を取り上げ、「野茂英雄は米国の野球界に対する、日本の最高の贈り物だ」と報じた。

こうして野茂は、アメリカ球界に鮮烈なデビューをはたし、大リーグに対するコンプレックスを打ち砕いて、日本球界から大リーグに向かうための大きな壁を、乗り越えることに成功したのである。

野茂英雄は、昭和四三年八月三十一日、大阪市港区生まれ。野球を始めたのは五年生の時で、地元の少年野球チーム、池島ファイアーズに入ったのがきっかけだった。五九年、成城工業高校に入学。投手として野茂の名が知られるようになったのは、二年生の時、夏の大阪府大会で完全試合を達成してからである。後に「トルネード(竜巻)」と呼ばれる独特のフォームと、威力のあるストレートが、府の高校球界で評判になった。

昭和六二年、新日鉄堺に入社。その後

の野茂の球歴は華麗である。ノンプロ時代はソウル五輪で銀メダル、インターコンチネンタルカップで奪三振王。六四年、プロ野球のドラフトで八球団が、一位指名する中、近鉄が史上最高の、億二千万円で野茂を獲得。そしてこの年、最多勝、防御率・勝率・奪三振・位、新人王、ベストナイン、沢村賞、MVPの八冠を獲得した。このすば抜けた球歴を持つ野茂が、平成七年一月九日、突然、近鉄を退団。二月二三日、ドジャースに大リーグ未経験者としては過去最高の二〇〇万ドル(約一億八〇〇〇万円)の契約金で入団するのである。

大リーガー・野茂英雄の誕生は、三一年前、サンフランシスコ・ジャイアンツに入団した村上雅則(当時・二〇歳)以来、日本人では二人目だった。

野茂が大リーガーとして注目を集めたことの意味を、「野球小説」でも知られる作家の赤瀬川隼氏は次のように語る。「村上の時は球団同士の話し合いによって、いわば武者修行のためという形で、しかし野茂は、自分の意志で大胆に大リーグへの道を切り開いた。その後は、続々と高校生まで直接大リーグに挑んでいます。こうした流れは、日本の野球のレベルを上げ、日本人が抱えている野球というスポーツのイメージを、少しずつ変えてきているのではないだろうか」

野茂は一年目に三勝をあげ、新人王を獲得。二年目・六勝、三年目・四勝と好調だったが、四年目の平成一〇年六月、不振でニューヨーク・メッツに移籍。通年で六勝にとどまった。試練の時期に入ったと言える。



▶平成七年六月二日、野茂は七厘目の先発となったメッツ戦で初勝利をおさめた。右端はランディ・グレン

ビルが一瞬にして崩落！ ソウル・三豊百貨店事故 一七日目の「奇跡の生還」

◀ビルの竣工は6年前。事故の直前、巡回していたデパートの重役が壁のすき間をのぞいて、「鉄筋が入っていない」と驚いたという。

韓国の首都・ソウル市街を、南北に横切るように流れる漢江。その南岸は江南地区と呼ばれ、さまざまな近代的な都市施設が立ち並ぶ一画だ。「漢江の奇跡」と呼ばれた、一九八〇年代の韓国の高成長を目のあたりにできる地区でもある。そこに、一九八九年にオープンしたデパート・三豊百貨店がある。

一九九五年六月二十九日の夕刻。店内は、昨日と同じように、夕食の支度を急ぐ買い物客でにぎわっていた。
午後六時頃、その活気のある店内の喧騒は一瞬にして、轟音と悲鳴の交錯する修羅場へと変わった。一階から五階部分までが、幅約七〇メートル、奥行き約七〇メートルにわたって突然崩れ落ちたのである。

轟音がやんだ時、コンクリートの塊や鉄筋が山のように積み、建物は地下三階にある駐車場まで、えぐれるように崩れていた。
暮れなずむ中、投光器の明かりのもとで徹夜の救助活動が始まった。
足場が悪いため、大型クレーンなどの重機が使えない。救助隊員たちは、切断

機や小型油圧機などを使って、瓦礫を取りのぞきながら生存者をさがした。深夜になって、地下で火災が発生し有毒ガスが充満し、救助作業はさらに難航した。
事故の翌日、在韓米軍や大韓赤十字社などの応援が加わったが、作業の困難さはあいかわらずだった。結局、救出作業は、七月なかばになっても続いていた。
崩落の徴候は、数日前からあった。
事故当日の午前七時、警備員は、食堂街のある五階の壁に約三〇センチの亀裂を発見した。午前八時、同じ五階の壁と床が傾き、四階では床の沈下による亀裂が発見された。正午頃、天井から水が噴き出し、その後、そこが突然、崩れ落ちた。
午後四時頃、本館会長（七三）、李漢祥社長（四二）ら百貨店の幹部は、緊急安全対策会議を開く。席上、担当者から崩壊の危険があると指摘を受けたが、閉店後の応急工事を決定しただけで、そのまま営業を続けることとなった。

事故発生、〇分前。本会長らは、店内を視察していた施設部長から「崩壊が始まっているようだ」との連絡を受け、店外に避難した。驚くことに、緊急避難放送などの対応の指示はなされなかった。
建物は手抜き工事が行われたうえ、たび重なる強引な増築や用途変更のため、みずからの重量に耐えられないほど弱くなっていた。
そして、建物の崩壊が起こった。
その時、女性従業員の朴勝賢さん（一八）は職場である地下三階の子ども服売り場にいた。轟音とともに床が抜け落ち、先輩の女性店員と一緒に墜落、頭部を強く打って意識を失った。
気がついた時、あたりは真っ暗だった。崩れ落ちた壁の向こう側に、先輩の声が聞こえたがすぐに途切れた。朴さんは助けを求めて叫び、脱出を試みたが、すべて無駄だった。
事故発生から、七日目の七月十五日が来た。生存者がいたとしてもすでに死亡してしまっただろうと、絶望視されていた。しかし、朴さんは生きていた。この日、地下三階部分のコンクリート壁の除去作業を続けていた救助隊員が朴さんを発見した。右足の怪我と軽い脱水症状を負っていたが、元気だった。
朴さんは救出される際、救助隊員に「きょうは何日ですか」とたずね、さらに「水がほしい」「暑くて衣服を脱いでしまっているの、恥ずかしい。何か着るものをください」と求めたという。
朴さんのほかにも、何人かの従業員や買い物客が一週間以上もたつてから瓦礫の中から奇跡の生還をはたした。しかし、それはあくまでも例外であった。
朴さんが救出された二日後の七月十七日、事故対策本部は、事故の死者は四〇六人、行方不明者は二六四人、負傷者九三三人と発表した。



▲救出の翌日、収容された病院で治療を受ける朴勝賢さん。韓国の新聞「中央日報」によれば、生き埋めになってから救出されるまでの15日17時間は、1979年のオーストラリアでの18日間に次ぐ長さだという。



共同通信社

六億円のマンガの評判は？ 東京都現代美術館オープンに ヘアリボンの少女」の大騒動

◀リキテンスタイン「ヘアリボンの少女」。1965年。キャンバス、油彩、121.9×121.9センチ。リキテンスタインの作品の中でも、最も人気が高く、1960年代ポップ・アートの代表作のひとつとされる。

平成七年三月一九日、東京都江東区のと都立木場公園に、東京都現代美術館が開館した。二万三七八〇平方メートルの敷地に、総工費約四〇〇億円をかけ、地上三階、地下三階、延べ面積三万三五一五平方メートルという日本最大の美術館ができた。

ところが、このオープンを伝える新聞各紙の見出しは、美術館誕生を伝えるには奇妙なものが多かった。

「六億円の『少女』評判は？」（朝日新聞）三月一九日

「高額絵画など三・五〇〇点」（日本経済新聞）三月・八日夕刊

「すったもんだがありました」（産経新聞）三月・八日夕刊

などと、なにやら胡散臭いものだった。現代美術のメッカとしては、アメリカにはニューヨーク近代美術館があり、フランスにはポンピドゥー・センターがある。それに続いて、世界規模の巡回展などを可能とする近代美術の活動拠点が、東京にも求められていた。そこで東京都は、一〇年前から設立準備にかかり、ようやく実現したのである。

問題は前年の平成六年、同美術館の目

玉として購入予定となっていた作品が、都議会で六億円であることが明らかにされたことに端を発している。その作品とは、アンディ・ウォーホルと並ぶ、ポップ・アートを代表する画家、ロイ・リキテンスタインの作品「ヘアリボンの少女」で、マンガの一部を拡大し、キャンバス上に写し取ったものである。東京都の税収不足が問題となっていた折から、新聞各紙は六億円が高すぎないか、適正な価格かどうか、作品の写真入りで報道した。

「作品購入ベールの中 これが超目玉六億円 都民「税金なのに何故」 総額六五億円」（東京新聞）九月二日

「アタシって、六億五千万もするの？ 都議会で美術論争」（読売新聞）九月二日

これらすべて、文化面ではなく、社会面で扱われたのだった。ある都議からは「六億円でマンガを買うのか」と素朴な疑問が出たという。こうした社会問題化した作品購入時の事情が開

館時まで持ちこされ、前出の奇妙な報道となったのである。

ポップ・アートとは、ニューヨークのグッゲンハイム美術館のキュレーターで批評活動をしていた英国人のローレンス・アロウェイが初めて用いた言葉で、ポピュラー・アート（大衆芸術）に由来している。一九六〇年代にニューヨークを中心に広がったスタイルで、マンガ、映画やテレビのスクリーン、商業デザインなど、大衆社会のイメージをテーマとして使い、反芸術を志向した。おもなポップ・アーティストとしては、ウォーホル、リキテンスタイン、オルデンバーグ、ウエッセルマン、シーガルらが活躍していた。

一九二三年にニューヨークで生まれたロイ・リキテンスタインは、一九五七年にはニューヨーク州立大学の助教授となり、抽象表現主義の作品を制作していた。一九六一年からドナルド・ダックやミッ



◀アンディ・ウォーホル「六枚組の自画像」。一九六六年。キャンバスにシルクスクリーン。一六九×一一二センチ。ウォーホルは、マンガやマリリン・モンローの写真などを使い、シルクスクリーンの技法で反復し制作した。反芸術的な絵画に、ポップ・アートのスターとされる。



◀東京都現代美術館。平成二年に吉田五十八賞を受賞した建築家 柳澤孝彦の設計による。

©1998 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, A.R.T. N.Y. SPDA Tokyo 東京都現代美術館



©The Estate of Roy Lichtenstein New York & SPDA Tokyo 1998 東京都現代美術館

キー・マウスなど、コママンガをほとんどそのまま拡大したものを作品として発表し、一躍、現代美術界のスターとなったのである。

こうしたアメリカ発の現代美術に関して、日本では一般にはほとんど理解されていないのが現状である。東京・銀座の画廊、ミウラ・アーツの三浦誠氏は、こう解説する。

「アメリカ現代美術の作品の価格が高すぎるという印象は、誰もが持っているでしょう。その中で東京都現代美術館が、スケープゴートの扱われたのではないのでしょうか。印象派や後期印象派などの歴史的な作品と、アメリカ現代美術が同じレベルで値がつけられていることもおかしいなと思っていました。もちろんアメリカ現代美術の時代性は感じますが、作品の成り立ちなどを、一般の人が理解できないというのも、正直な見方だと思います」

芸術として文化・学芸面で論議されずに、社会面をにぎわすという不幸なスタートとなった美術館では、開館記念展として写真家・荒木経惟ら、八人の作家による「日本の現代美術・九八五〜一九九五」を企画展示した。同展は三月・九日から五月・一日まで開かれ、入場者総数は四万九千五百人だった。また問題の「ヘアリボンの少女」などが展示された常設展示室には、翌年三月までに、四万人が訪れた。

ニューヨーク発の現代美術は、日本ではまだまだ一般の関心が薄いようだが、東京都現代美術館の活動を契機に、その魅力が理解され、関心の高まることが期待されている。

「基地や米兵におびえる生活はもういやです」 小学生の少女が襲われる事態を放置したのは誰だ! 「米兵暴行事件」と沖縄の怒り



平成七年、〇月、〇日午後、沖縄県中部の宜野湾市海浜公園に、わじわじーする思いにかられた八万五〇〇〇の人も人々が集まっていた。「わじわじー」とは、沖縄方言で、はらわたが煮えくり返るような怒りと、それをどこにぶつけたいのかわからないいらだちとが、ない交ぜになった気持ちをさす。

この集会の中で、最も其感を呼んだのは、普天間高校三年の仲村清子さん（一八）の言葉だった。

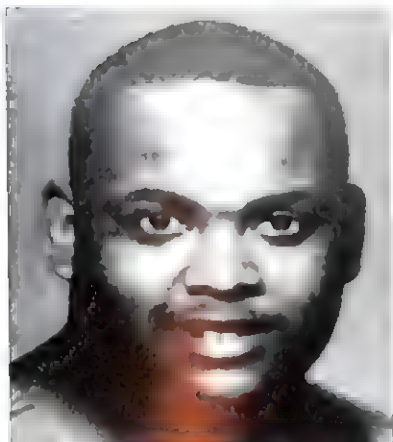
「私は戦争が嫌いです。基地や米兵におびえる生活はもういやです」

そして次のひとこと。会場は、静まり返ったのである。

「暴行糾弾、協定見直し」
八万五〇〇〇人が結集!

米軍の三人の兵士が小学生の少女に暴行を働いた事件を発端に、沖縄では反米軍基地の闘いが燃え広がった。日本復帰当時、基地の整理縮小に努力するとしてた国会決議が履行されないばかりか、むしろ「安保再定義」論により、基地の強化、恒久化の動きさえある中で、沖縄県民は、基地全廃に取り組みようとしている。

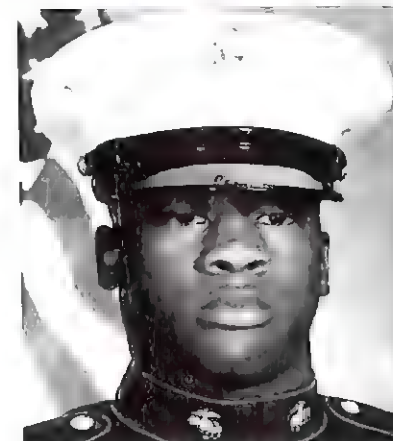
◀9月26日、「暴行事件」に抗議する集会の後、3000人が雨をついて、米海兵隊司令部までデモ行進をした。



▲犯人、マーカス・ギル(22)



▲同、ロドリコ・ハーブ(21)

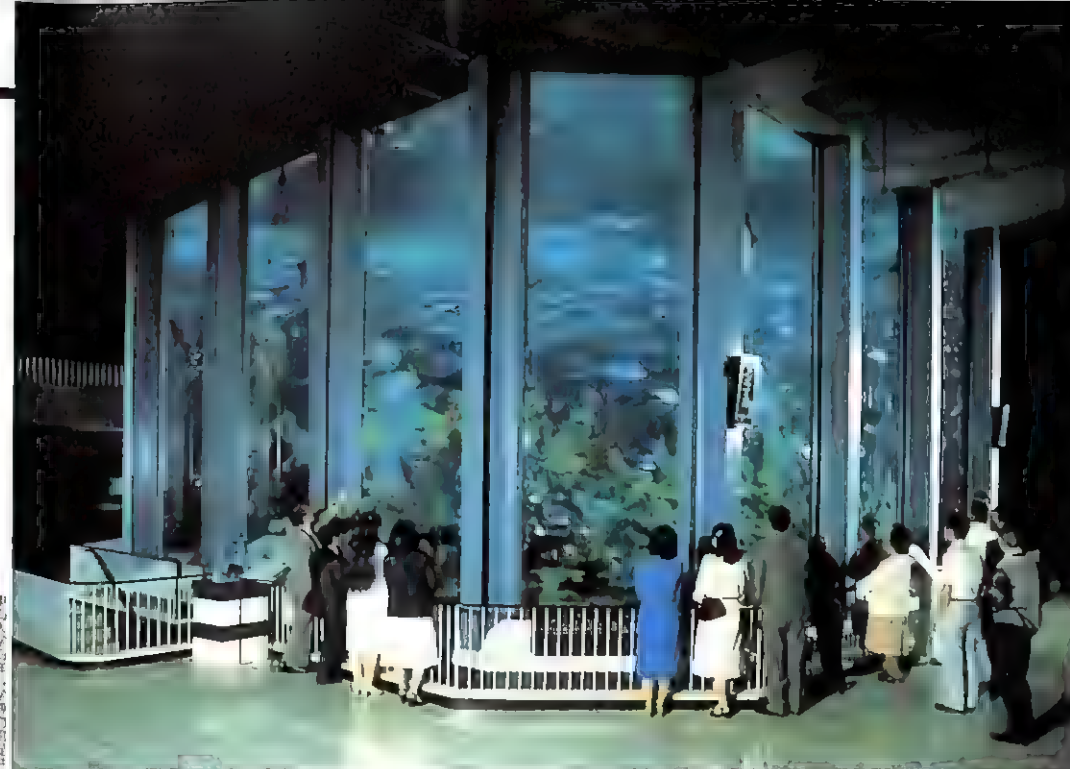


▲同、クワット・クワディット(20)

東海大学海洋科学博物館 静岡・清水市 「当館生まれ」と「ロボット」の魚たちが泳ぐ ユニークなとり合わせ

この博物館は二つの顔を持っている。ひとつは水族館としての顔であり、もうひとつは科学博物館としての顔である。そして水族館を代表する装置には、縦・

横・〇、高さ六メートルの大きな海洋水槽がある。今でこそ巨大水槽も珍しくないが、この水槽が完成した昭和四五年当時は、世界で初めての大規模水槽として注目された。博物館近くに広がる駿河湾を凝縮したような水槽で、現在、マグロやエイなど五〇種二六〇〇匹が泳ぎまわっている。

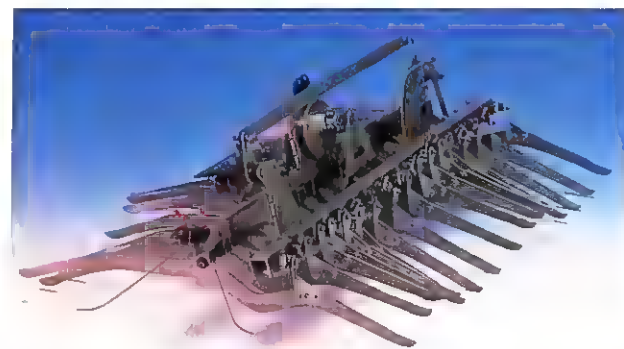


▲海洋水槽は、サンゴ礁の海、海藻の海、砂底の海、岩礁の海と、4つのコーナーに分けられており、それぞれの特徴ある光景を楽しむことができる。



▲この一般水槽には「当館生まれの魚」もいるが、海で生まれた魚との区別がつかない。みな元気に泳ぎまわっている。

さらにこの水族館には、地味だが、ほかの多くの水族館にはない特長がある。それは、ここには「当館生まれの魚」がたくさんいるということだ。これについては、上野動物園の名物園長、故・古賀忠道氏を記念して設けられた、権威ある「古賀賞」を、平成・〇年五月に受賞したほど。



▲この博物館ならではのロボット。これは海洋にいるフナムシなどの節足動物を模した「バビロニアシ」で、たくみに足を運んで動きまわる。

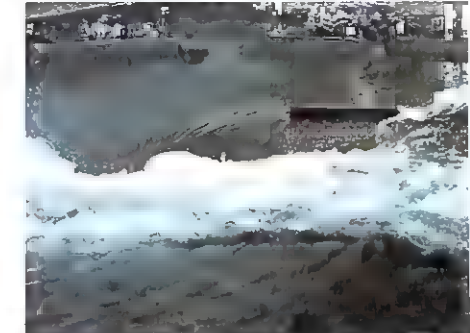
水槽内で誕生させ成長させるこの館の繁殖技術は、ハイレベルなのである。なにしろここには、カクレクマノミやハリセンボンなど、たくさんの「当館生まれの魚」が泳いでいるのである。ここを訪れてまず最初に目に入る「トビウオの赤ちゃん」も、そのうちの一種だ。体長四、五センチほどの小さな魚が、時々、胸びれを大きく翼のように広げる様子は、まぎれもなくトビウオのものだった。

さて「当館生まれの魚」が元氣よく泳いでいるかと思うと、別のコーナーではロボットが泳いでいるというところが、この博物館のユニークなところだ。海洋生物の生態や行動を研究するところから生まれたロボットで、餌に向かって進む人工知能つきの「ヤツアシカンガエビ」や、ウミガメに似た動きをする「オヨギマンネン」など、そのネーミングとともに動きもユーモラスなロボットが、合計一五〇体も作られ、展示されている。

●東海大学海洋科学博物館
静岡清水市三保三三八九
〇五四三―三四―三八五
JR清水駅から三保ランド行きバスで三〇分、終点下車、徒歩三分
開館時間九時―十七時
休館日十二月二十四日―一月一日
入館料一般一五〇円

また、いかにも科学博物館らしい実験装置も多々あるが、特に津波を起こしてみせる実験水槽はエキサイティングだ。防波堤のある海岸と周辺の町が五〇分の一縮尺の模型で作られており、沖合で起こった津波が、一五メートルの高さになってこの海岸に襲いかかるという想定で実験が行われる。水槽の奥で起こされた波は、あつという間に大津波となって海岸に押し寄せるのだが、何よりもその速さに驚かされる。海のそばにいて、大きな地震にあった時や津波警報が出された時は、ただちに少しでも高い方へ避難すべきだとされているのは、当然のことだったのだ。

海は生きている――このありふれたフレーズが、ミステリアスな香りとともに、生き生きと浮かび上がってくる博物館なのであった。



▲手前の海底を隆起させたり陥没させたりして、津波を起こす実験水槽。あつという間に、向こうに見える海岸を襲う。50分の1縮尺の模型だから、その迫力はすごい、のひとことだ。



▶10月21日、8万5000人が参加した「米軍による少女暴行事件を糾弾し、日米地位協定の見直しを要求する沖縄県民総決起大会」。

米兵の殺人は二年に一件 検挙率は四分の一以下

面積が日本国土の二・六割にすぎない沖縄には、全国の七五割の米軍基地が集中している。もともと沖縄は、太平洋戦争末期、国内で唯一の地上戦を体験し、県民の三分の一近くの約三万人が命を奪われている。しかもそれはまったく戦争がなくな、たんに本土決戦までの時間稼ぎにすぎない。

かつた。そして戦後は、米軍に「銃剣とブルドーザー」で不法に土地を奪われ、沖縄の中に基地がある」のではなく、「基地の中に沖縄がある」とさえ言われている。安保堅持という国策のために、沖縄は「本土の犠牲」を強いられてきたのに、そのうえ、米兵の犯罪にまで耐えろというのか、という思いが県民の心に蓄積されたのは当然のことである。

昭和四七年の沖縄の本土復帰から平成七年八月までの、米兵の検挙人数は四九三三人にのぼる。この人数は沖縄の全刑法犯の約六割に達している。また、米兵による殺人事件は、復帰からこの年まで、二件発生している。二年に一件の割合だ。

「この数字も実は氷山の一角。レイプは親告罪ですから、泣き寝入りしたケースが九割以上と警察関係者も語っています。また、復帰以前、昭和四〇年代のベトナム戦争当時は、毎年一〇〇件以上、殺人、強姦、放火



などの米兵による犯罪が起きました。しかも検挙率は、低い時は四分の一以下だったため、米兵がたかをくくり、犯罪が助長されました（福地曠昭・沖縄人権協会理事長）。

沖縄では、事件以前から子どもたちの間で、「Yナンバー（米軍関係の車両）が来たら逃げる」と言われている。江戸時代の無礼討ちにも似た暴虐に、子どもたちはおそれおののいているのである。こうした状況におかれた県民の怒りは、米兵の暴挙によって、いつきに爆発し、基地の見直し要求の闘い、基地用地の強制収用に對する知事の代理署名拒否訴訟事件に発展する。

基地用地借用契約を地権者が拒否した場合、該当する市町村長が代理署名し強制収用することができる。さらに市町村長が拒否した場合は、都道府県知事が代理署名するとされている。沖縄では、市町村長も、大田昌秀沖縄県知事（七〇）も代理署名を拒否したため、首相が大田知事を相手に「代理署名を行うよう」訴

「あきらめてはいけない。あきらめたら次の悲しい出来事が起きます」この年九月四日、小学校六年生の少女が、沖縄本島北部で、米海兵隊基地に所属する三人の兵士、マールカス・ギル、ロドリコ・ハープ、ケントリック・リディット（二）によって暴行された。身長一六〇センチにも達する巨漢の三人は、ノットを買って帰宅する途中の少女を拉致し、日や目に粘着テープを貼り、手足を紐で縛ってレンタカーに乗せ、暴行した。きわめて計画的かつ極悪な犯罪であり、懲役六年六ヵ月から七年の判決を受けた。

しかし、戦後五〇年、日本に復帰して三三年も経っているのに、日米地位協定により、米国軍人・軍属は起訴まで日本側が身柄を拘束できない。言い換えれば日本国憲法の適用を受けない、治外法権がまかり通っているのである。この事件の犯人たちも、米軍憲兵に身柄を拘束されたものの、日本側に引き渡されたのは起訴の後だった。この事件後、「凶悪犯に限り」起訴前に身柄を引き渡すとの地位協定の運用上の改定が行われたが、実際は平成一〇年一〇月の女子高校生轢き逃げ殺人事件の米兵も、起訴まで身柄が引き渡されなかった。

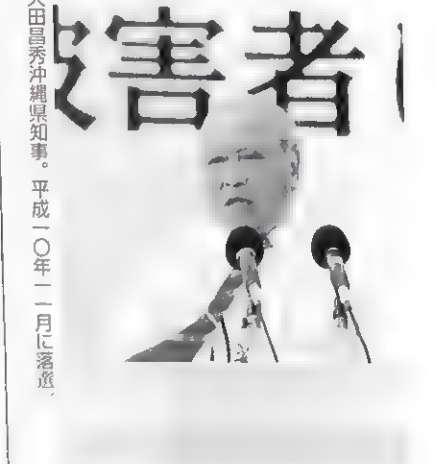
そのため、人々の「わじわじーする思い」は、まず第一に米軍と基地に向けられた。だが、それだけではなかった。村山富市首相（七一）や河野洋平外相（五八）ら政府の対応も、沖縄県民の気持ちを逆なでするものだった。村山首相はじめ政府首脳は、「地位協定の見直しは先走りすぎ」と消極的な姿勢で終始していたのである。

訴訟を起こした。首相が自治体の長を相手に訴訟を起こすという前代未聞の事態は、最高裁まで争われた。結局、県側の敗訴に終わった。しかし、その間には、契約期限の切れた他人の土地を米軍が「不法占拠」し、日本政府が黙視するという信じられない一幕が生じたのである。

そして、平成九年の橋本龍太郎政権による「米軍用地特別措置法」の改定とは、そうした「非合法」を合法化するためのベテンの手段だった。

沖縄県民衆の要求闘争の糸轡を沖縄人学の新崎盛暉教授は、こう解説する。

昭和四六年の沖縄返還協定批准国会で、沖縄基地の整理縮小が決議されています。にもかかわらず日本政府は、その後四半世紀にわたって解決をおこたててきました。それどころかむしろ、アメリカ側は基地機能の強化と恒久基地化を意図しています。そうした中で、少女暴行事件によって、基地を根本的に見直す気運が全国的にも盛り上がりました。しかし、日本政府は、アメリカに對し、及び腰のままです。一方、沖縄県は、二一世紀に基地を全廃するアクションプログラムを構想しています。その間で、膠着状態となっているのが沖縄の現状です」



被害者



▼フランスが4年ぶり核実験(9月5日)南太平洋のムルロア環礁で、国際的抗議を無視して強行。タヒチ島での2日の反対集会には、日本から新党さきがけ代表で蔵相の武村正義が参加した。

▶リニアモーターカー公開(9月25日)JR山梨リニア実験線基地で水鳥のくちばしのような頭部を見せた。2年後、時速500キロを目標に実験走行、21世紀の実用化をめざした。

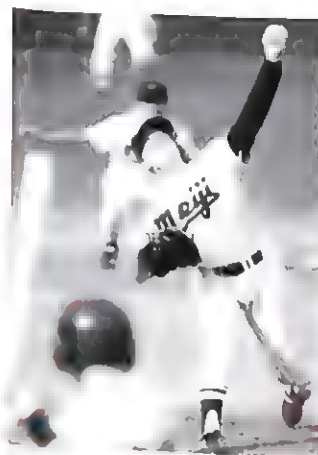


▶青島都知事、「公約」撤回(9月27日)予算委で、経営破綻におちいったコスモ信組への支援を表明。「乱脈融資の援助はしない」との約束は反故。都市博に断固反対した意地はなし。



▶大和銀行、約1100億円損失(9月26日)ニューヨーク支店職員(44)が、11年にわたり海外で米国債投資に手を出して失敗。管理の甘さが目立った。

▼東京六大学に初の女性投手(9月19日)明大の左腕・ハーラー(23)が東大戦に登板。1回3分の2を投げ、5回死球、無安打無失点。神宮球場が沸いた。



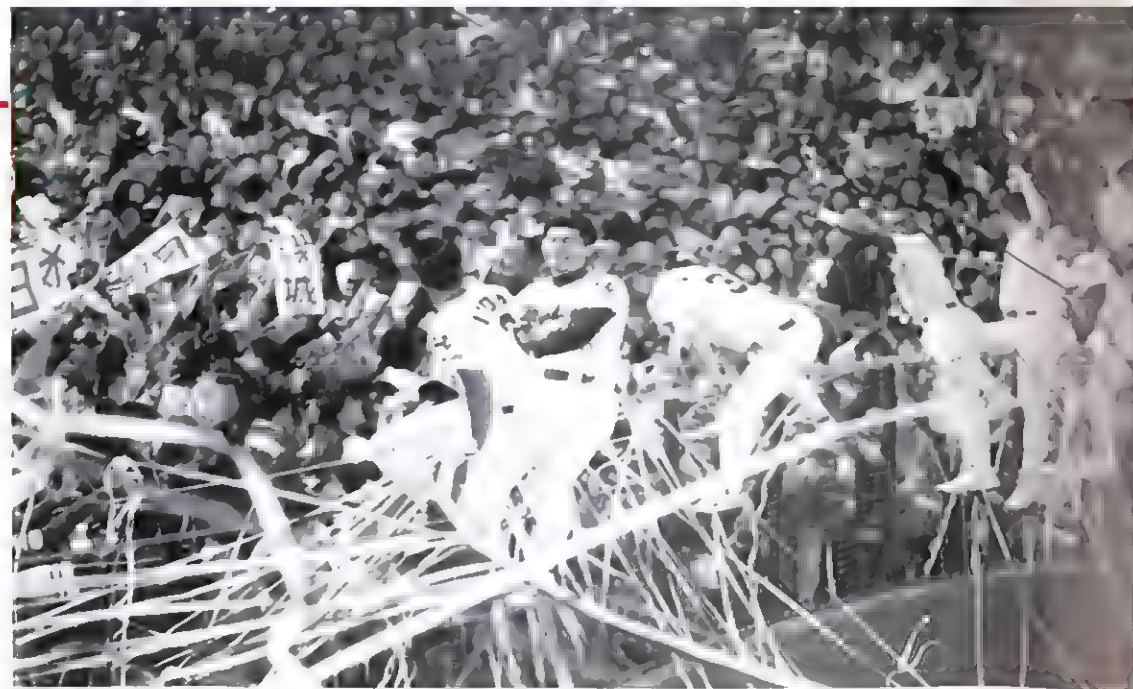
▼公定歩合、史上最低の0.5パーセントに(9月8日)日銀が消費拡大を求め、空前の金融緩和。都市銀行は、預金金利を1年物スーパー定期で年利わずか0.25パーセントに。



▲ヤクルト、3度目の日本一(10月26日)野村「100野球」のイチロー封じが成功。4勝1敗でオリックスに圧勝。「仰木マシク」は力を出しきれぬまま敗れた。雪山は、神宮球場で喜びのヤクルトナイン。



▲ホームレスの老人、災難(10月18日)大阪・道頓堀の戒橋で寝ていたところ、突然、若い男二人に川へ投げこまれて水死。大阪府警は、25歳と24歳の男を逮捕。写真は花や線香が供えられた現場。



▲水俣病問題、40年目の決着(10月28日)政府最終案、一人当たり260万円の一時金支給、総額49億円の加給金支払いなどを、被害者5団体が多数決で、苦渋の受諾。

▶水死偽装事件の容疑者逮捕(10月16日)フィリピンで警察官4人と共謀、身替わり死体を調達して、約6億5000万円の保険金の詐欺取をもちろんだ



証言・あの日この日 澁谷義人(35)

12月25日(月) ツーズー病院を訪れるとチェン女医がこころよく受け入れてくださった。若いドクターが二階の病室に案内してくれた。ベッドに片足の少年が寝ている。思春期の年齢好だが目はうつろで顔にはりがない。ただほん



やりして手足をぶらぶらさせている。どこかで見た顔だ。ドクターが「ベト」と一言。あつベトちゃんだ。(澁谷義人「アジア 自転車の旅」)

高校で社会科を教える澁谷義人は、この年、自転車によるアジア訪問の旅に出かけた。モンゴル、台湾、シルクロードを経て、ベトナムへ。ベトナムは想像以上に明るく活気に満ち溢れていたが、しかし、ベトナム戦争の傷跡はまだ各所になまなましい。この日、ホー・チミン市のツーズー病院を訪れた澁谷は、すっかり少年に成長したベトちゃん、ドクちゃんに会う。(山崎行太郎)

▼2代目・水谷八重子襲名(10月18日)戦後新派の大黒柱だった母の「名跡」を、娘・良重が継いだ。写真は、襲名記念に東京の浅草寺境内を、袴姿の若衆姿で練り歩く水谷。「2代目!」の声が飛んだ。



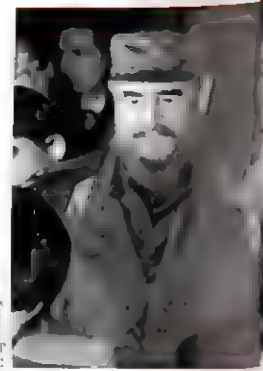
- 平成7年10月
- 1(日)●世界体操選手権、鯖江市で開催(10日)。
 - 2(月)●資産受、独禁法違反を認め、排除勧告を底稿。
 - 3(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 4(水)●群馬地震の静岡伊豆半島で火山性微動観測。
 - 5(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 6(金)●東京・大阪両地、HIVエイズウイルス。
 - 7(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 8(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 9(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 10(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 11(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 12(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 13(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 14(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 15(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 16(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 17(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 18(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 19(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 20(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 21(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 22(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 23(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 24(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 25(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 26(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 27(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 28(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 29(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 30(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 31(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。

- 平成7年9月
- 1(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 2(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 3(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 4(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 5(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 6(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 7(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 8(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 9(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 10(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 11(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 12(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 13(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 14(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 15(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 16(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 17(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 18(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 19(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 20(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 21(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 22(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 23(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 24(日)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 25(月)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 26(火)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 27(水)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 28(木)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 29(金)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。
 - 30(土)●「大日本」の「大日本」の「大日本」。



▲カストロ議長、突然の初来日(12月12日)
アジア諸国訪問の帰途、成田到着。村山首相らと精力的に会談、米国のキューバ経済制裁解除へ支援を要請。

◀マヤノトップガン快勝(12月24日)千葉・中山競馬場での有馬記念で、菊花賞に続きGIに2連勝。田原成貴騎手は有馬記念最多勝タイの3勝。写真左端。



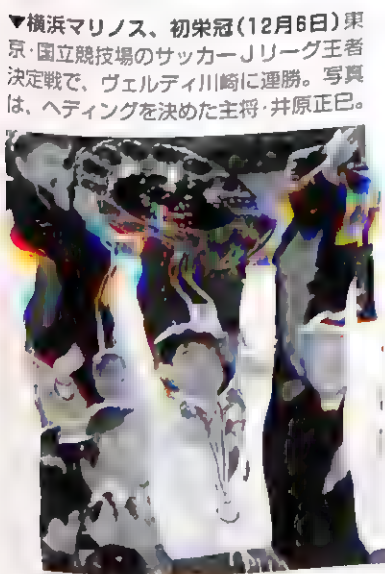
◀中国、魏京生(44)に懲役14年(12月13日)西側の批判を無視、政府転覆をくちくす



▲今度は全斗煥元大統領(12月3日)軍人政権時代の不正腐敗一掃に挑む金泳三文民政権が、前月の盧泰愚前大統領に続いて逮捕。1979年の閔軍クーデターで、盧とともに叛乱首謀の罪に問われた。



「合掌造り」世界遺産
に登録(12月6日)ベル
リンで開催中の世界遺
産委員会が決定。岐阜
県・富山県の「白川郷
(写真)・五箇山」に江
戸末から明治に建てら
れ、今も人が住む88
棟の民家とその集落が
対象という、珍しい例。



▶ビートルズの新作発売(11月22日)未発表曲やインタビューを録音したCD「ザ・ビートルズ・アンソロジー」が発売されると、若い女性たちが殺到した。写真は東京・渋谷のレコード店店頭で。



▶ゆりかもめ開通(11月1日)新橋から東京湾に架かるレインボーブリッジを経て、臨海副都心・有明まで無人の「新交通システム」が走った。都市博中止で厳しい出発となったが、初日の客足は上々。



◀ヒマラヤで邦人13人遭難(11月10日)ネパールのエベレスト山群・ゴークン峰で、大規模な雪崩が発生。トレッキングツアー一行とガイドの26人が被害に。写真は救助隊。



▶若貴、初の兄弟対決(11月26日)大相撲九州場所千秋楽、横綱貴乃花(23)と大関若乃花(24)が12勝3敗で並び、優勝決定戦。若乃花が下手投げで勝った。



- 平成7年11月

 - 1(水) ● 日野明子、結婚。
 - 2(木) ● 日本郵政、郵便物に「おはよう」のスタンプを貼ることを義務付ける。
 - 3(金) ● 全日本体操女子の朝日生命杯、「二連覇」。
 - 4(土) ● イスファールのラビン首相、テルアビブで暗殺。
 - 5(日) ● 官公接待の原則廃止が、道原と、改進黨調査。
 - 6(月) ● モンテール駐日米大使、日米指導者は国民に安否の意義の説明を」と会見。
 - 7(火) ● 日野明子の初め、結婚。
 - 8(水) ● 国語審議院、「抜き言葉」認めないと中間報告。
 - 9(木) ● 熊本大学学部長、HIV感染者の遺伝子治療臨床研究を厚生・文部両省に申請。
 - 10(金) ● エベレストで雪崩が発生し、一人死亡。
 - 11(土) ● ナイジェリア、環境保護活動家ら九人を処刑したことで英連邦加盟国の資格停止を受ける。
 - 12(日) ● アマ野球王座決定戦で三菱自動車川崎初優勝。
 - 13(月) ● 「藤隆美総務庁長官、植民地時代に日本は朝鮮にたいこもした」のオチ、一斉で謝罪。
 - 14(火) ● 武村蔵相、歳入不足一一兆円以上で翌年度予算で七年ぶりの赤字国債発行と財政危機警告。
 - 15(水) ● クリントン米大統領、共和党との対立から米政府機能の一部停止で訪日中止。
 - 16(木) ● 韓国の盧泰愚前大統領、収賄容疑で逮捕。
 - 17(金) ● 行革委規制緩和小委、NTT分割を支持。
 - 18(土) ● 今後三年間、米の減反規模拡大、と農水省。
 - 19(日) ● APEC、自由化達成の大阪行動指針採択。浅利純子、東アジア女子マラソンで逆転優勝。
 - 20(月) ● タイアナ妃、BBCテレビ番組に出演を告ぐ。
 - 21(火) ● 青森・秋田両県の白神山地、入山規制へ。
 - 22(水) ● 石川県小松沖で自衛隊F15が僚機を撃墜。
 - 23(木) ● 大阪府高市町で毒ガス、セアカカクモを発見。
 - 24(金) ● 九月中間決算で二行の不況指標、兆円超。
 - 25(土) ● 新潟水俣病、患者と昭電工が解決への合意。
 - 26(日) ● 中環九州地方、上旬の大雨で定戦。
 - 27(月) ● 若乃兄弟、再会を断念。
 - 28(火) ● 新潟県上越市の中一男子、「いじめ」で自殺。
 - 29(水) ● 日本ペンクラブ、再販制度廃止に反対を決議。
 - 30(木) ● ユーヨーク証券取引所、米国野村證券に自己資本規制ルール違反で罰金約一億円の命令。

入、幼児を人質に籠城（翌日、犯人逮捕）。

秋葉原も仰天した「パソコン新時代」の到来 全世界で一億本も売れたビル・ゲイツの自信作 「ウィンドウズ95」日本発売の大騒動!



「まったくの素人でもパソコンを自由に使いこなせる!」。マスコミを総動員した一大宣伝戦を展開し、大ヒットとなった「ウィンドウズ95」。パソコン大衆化時代突入の仕掛け人、ビル・ゲイツはこれにより巨万の富を得、五年連続で世界の大富豪の頂点に君臨し、世界のパソコン業界を制したのである。

四日で二〇万本、二八億円
ブレイクした最新版OS

「スリー、ツー、ワン、ゼロ」

平成七年一月三日、深夜零時のカウントダウンに、山のような群衆が唱和し、「ゼロ」と叫ぶと同時に、長蛇の列をなした人々が我先に、歓声をあげながら店内になだれこんでいく。秋葉原だけで、三〇〇〇人が集まったという。

「何しろ、後にも先にも秋葉原があれば盛り上がることはありません。前景気が盛り上がるだけ盛り上がりすぎてしまったから、何が起るかわからないので、パソコン以外の売り場担当を五〇人も応援に來させて、戦場みたいな騒ぎでお客様に対応しました」(石丸電気本店・桑本野茂樹店長)。

コンピュータ業界全体を支配におくこと
公言しているのである。

一九九五年一月二八日、アメリカの名家に生まれたゲイツは、一九歳で、マイクロソフト社を興し、本格的にソフトウェアビジネスへと身を投じる。

そして、九八〇年、年商七〇万、従業員四〇人を擁するゲイツに、大きな転機が訪れる。IBM社からパソコン向けOSの開発依頼が来たのだ。マイクロソフト社の実力に、「巨人」が頭を下げたのである。だが、この時、ゲイツは珍しく躊躇したという。

マイクロソフト社は、それまでアプリケーショントラック専門に開発してきたそのマイクロソフトがOSも開発することとは、これまでパートナーだったOSメーカーを商売敵にすることにほかならない。この時、苦悩するゲイツに受注するよう説得にあたったのが、当時のマイク



▲平成七年十一月三日午前零時、花火が上がり、ファンファーレが鳴る中、東京・秋葉原の電気街で「95」の発売が開始された。

マスコミをはじめ、あらゆるメディアを総動員した「ウィンドウズ95」(以下「95」)発売前日の出来事である。たとえば発売前日の「日本経済新聞」には、マイクロソフト社の四半にわたる全面広告をはじめ、パソコン関連・九社の広告がずらりと顔をそろえた。後に広告業界では、これを「アド・ジャック」と名づけたのである。パソコンショップのフイバーは、波々雑誌はもちろん、「朝日新聞」や「全国版」の一面に写真入りで報道され、全国に「パソコン新時代」の到来を印象づけた。

「95」は、折からのパソコンブームの裾野を決定的に広げたのだ。実際、「95」によって、パソコンの販売台数も跳ね上がった。当時、一セット二〇万円以上だったが、平成八年度の販売台数は、前年度に比べて三四割増という驚異的な数字を記録したのである。「パソコンをいじったことのない人まで来店されました。中にはパソコンもない

五年連続、米国の富豪 ビル・ゲイツの野望とは

「私はパソコン用のOS(MS-DOS)でIBMを瀕死に追いこんだ。『ウィンドウズ31』でアップルにとどめを刺しつつある。次は『ウィンドウズNT』で『UNIX』を壊滅させる」

一九九三年、企業向けの「ウィンドウズ」である「NT」発売に際してマイクロソフト会長のビル・ゲイツ(当時、三三歳)が言い放った言葉だ。もとはと言えば一介のベンチャー企業の会長が、大型コンピュータの世界で「巨人」と言われたIBMをパソコンで翻弄し、次は企業向けワークステーションの



▲海外で大量に出まわった、25ドルの海賊版を手にするモスクワの少年。

三宅島から自然保護を訴える モイヤーの悲しみと憤り

佐伯修

「三宅島の自然は一九五二年の夏の朝には、
けつて戻らないのである」

伊豆七島の三宅島の自然に魅せられ、島に住みついた、アメリカ・カンザス州生まれの海洋生物学者、ジャック・T・モイヤー（一九二九）は、この年に出版された立松和平との共著『南の島から日本が見える』の中で、悲しみと憤りをこめて述懐している。戦後、小さな島の自然が、人間社会の都合から余儀なくされた変化は、日本列島全体の自然環境と野生生物の運命の縮図であった。同書で、モイヤーは言う。

「六〇年代になっても、島では自然とよいバランスを保って暮らしていた。地域に必要なものを採取することはなかった。しかし七〇年代にすべてが変わった。『離島ブーム』という観光がさかになり、（中略）七〇年代初期のイタチの悲劇的な導入が始まった。一九八三年には火山の爆発とそれともなう経済荒廃が三宅島の人びとを襲った。また八〇年代はバブル経済の到来とリゾート法が施行された時代でもあつた」



三宅島 伊豆群島「ダイビングワールド」

た。文中にある、本来島にいなかったイタチの持ちこみは、オダカトカゲや、アカコッコなどの鳥類を激減させた。

モイヤーが初めて島を訪ねたのは、朝鮮戦争の最中の一九五二年七月二日のことだった。当時、米空軍の下士官として日本に駐留していた彼は、島にある海鳥・カンムリウミスズメの貴重な営巣地を調査、それが米軍の爆撃訓練によって危機にさらされていることを大統領府に直訴し、営巣地を救う。以後、頻りに島を訪ねるようになった彼は、島に自分の研究所を設け、クマノミなど、魚類の動物行動学的研究にも多くの業績をなした。そして、近年は都会の子どもに島の自然を体験させ、ナチュラリストの精神を伝える「三宅島自然キャンブ」などの試みを熱心に続けている。

そんなモイヤーはまた、カンムリウミスズメの一件以来、三宅島への米軍夜間離着陸訓練（NLP）場建設問題など、多くの自然保護運動にかかわってきたが、同時に、自然保護の主張は、地域の人間社会の幸福を犠牲にするのではなく、それと両立しなければならぬことも強調している。

翌一九九六年刊行の著書『モイヤー先生、三宅島で暮らす』は、ともすれば、人間よりも自然ばかりに熱中しがちだった彼にこんな認識をもたらした、三宅島の島民との触れ合いを具体的に綴ったものだが、この本の中で彼はまた、日本で左右両派から政治的に利用されることなく自然保護運動を展開する困難さにも言及している。

ロフト唯一の日本代理店であるアスキー社社長の西和彦だった。結局、ゲイツは西の説得でOSの開発にゴーサインを出す。が、もし西がいなければ、マイクロソフト社の今日の地位はなかったかもしれない。

「ゲイツ商法」の典型は、インターネットを閲覧する際の必需品である閲覧ソフトの商戦に現れた。この分野で出遅れていたマイクロソフトは、ソフトをなんと「95」と抱き合わせで無料で配布してしまったのである。

世界のパソコンの八割はもはや、「95」なしでは動かない。この強みを武器に、他社ソフトの締め出しをはかったのである。さらに後継のバージョンの「ウィンドウズ98」では、閲覧ソフトをOSと一体の設計にしてしま

う。これにより、同社製ソフトがトップシェアとなるのも時間の問題となった。しかし一方で、マイクロソフトの強引なやり口は法廷で争われている（一九九八年現在、係争中）。

ゲイツにも、挫折がなかったわけではない。一九八五年に発売した初代「ウィンドウズ」の評判は最悪だった。マイナ一ながら根強いファンを持つ「マッキントッシュ」の「出来の悪い重流」と酷評されたのだ。だが、続く「ウィンドウズ3.1」は世界で六〇〇万本を売り尽くす大成功をおさめたのである。そして「95」も、世界で一億本を突破している。その結果、マイクロソフトの株式時価総額は、

一九九五年九月、ゲイツ（中央）は中国・北京を訪れ、江沢民国家主席（右から二丁目）と会談した。ロイター・ウエブ・フォト



一九九六年九月現在で二六・一億になり、ゼネラル・エレクトロニクス（GE）社をしのぎ世界の企業の頂点に立った。ゲイツ自身も、一九九八年には五年連続して米国の長者となっている。

「ゲイツ氏は、天才的な商才を持ちながらも努力を怠らない人。これまで同様努力を続けられ、〇年後も彼の地位は揺るがないでしょう。ただし、日進月歩の技術への対応を間違えば足をすくわれるかもしれません」（西和彦氏）

ウィリアム・ヘンリー・ゲイツ二世（1955）マイクロソフト社長。コンピュータ業界の覇者。父はアメリカ・シアトルの有名な弁護士。ハーバード大学法学部中退。資産、約八兆円。

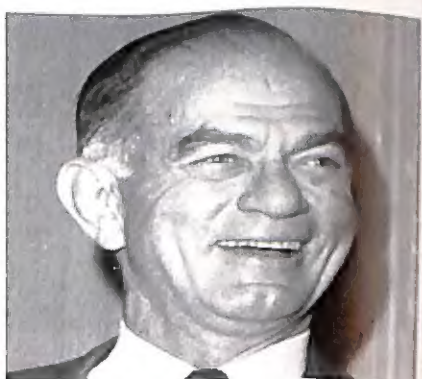
往きて 還らぬ



▲1月5日 和達清夫(92)
初代気象庁長官。地震学の世界的権威。日本学術会議会長などもつとめた。昭和60年文化勲章受章。著書「地震」。



▲1月12日 入江たか子(83)
映画女優。戦前「滝の白糸」などがヒットスターに。戦後は妖艶な化粧で「化粧猫女優」と呼ばれた。



▲2月9日 J.W.フルブライト(89)
米の政治家。フルブライト交換留学生制度（1946年創設）の生みの親として知られ、日米交流に尽くした。



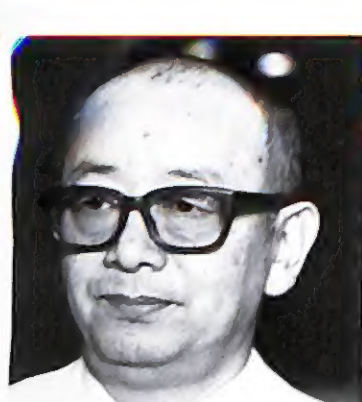
▲2月24日 兵藤(旧姓・前畑)秀子(80)
女優。戦前「花嫁の物語」などがヒット。戦後は「花嫁の物語」などで活躍。著書「花嫁の物語」。



▲5月8日 テレサ・テン(42)
台湾出身の歌手。多量のヒット曲を生み出し、アジアの音楽界に大きな影響を与えた。



▲7月31日 山野愛子(86)
女優。戦前「花嫁の物語」などがヒット。戦後は「花嫁の物語」などで活躍。著書「花嫁の物語」。



▲8月30日 山口謙(68)
小説家。寿屋（現・サントリ）の社長。出身。昭和38年「江分利満氏の優雅な生活」で直木賞受賞。エッセー「男性自身」。



▲9月14日 岡田英次(75)
映画俳優で、社会派スター。昭和25年「また逢う日まで」で千秋賞を受賞。スキャンダルが大きな話題に。



▲9月15日 渡辺美智雄(72)
政治家。副総理・外相をつとめ、総選挙に2度挑戦した。著書「ワタナベ美智雄」と呼ばれた語り口は、数々の名言。



▲11月23日 ルイ・マル(63)
仏の映画監督。デビュー作「死刑台のエレベーター」(1957年)が大ヒットしヌーベルバーグの先駆となった。



▲12月1日 田宮高隆(52)
赤軍派のリーダーで、昭和45年日航機「よど号」をハイジャックして北朝鮮に亡命。平壤に滞在。心臓麻痺で死亡。



▲12月25日 ディーン・マーチン(78)
米の歌手で、ジェリー・ルイスとコンビの喜劇映画で人気を集めた。「フランク・シナトラ一家」の一員でも有名。

100年をつくる会社。

土木と建築、という2つの大きな顔を持っている鹿島。
みなさんの安全で快適な暮らしの土台を、

いつの時代もしっかりと丁寧につくってきた会社です。

そんな私たちですが、これからのことを心配しています。

自然のことや環境のこと、そしてエネルギーのこと、

ますます高齢化していく社会のことが気になります。

そんな課題を総合建設会社として何とか解決できないか。

すぐには正解を出せないかもしれませんが、私たちはモノづくりを通して、

その問いに答えたいと思います。

この先の100年を見据えたモノづくりへ。鹿島です。



鹿島

KAJIMA CORPORATION

本社: 東京都港区元赤坂1-2-7 〒107-8388

ホームページ <http://www.kajima.co.jp/>

